

□ 2 評 価 結 果

I 評価結果の概要

1 市民意識

市内に居住する満20歳以上の男女9,000人を対象に、名古屋新世紀計画2010第2次実施計画に掲載された79の施策ごとに、満足度「市はしっかり取り組んでいると思いますか」、重要度「市政にとってどのくらい重要だと思いますか」の2点について回答をお願いする市民満足度調査（調査期間は平成17年7月28日から9月30日）を実施し、その結果を指数により整理し、評価しました。

次ページ以降には、調査結果による施策別、年齢別、男女別の主な特徴を掲載しています。詳細については、Ⅱ市民意識（49ページから62ページ）をご覧ください。

〔参考〕市民満足度調査の回収結果

実施計画の柱		施策数	対象数(人)	回収数(人)	回収率(%)
1	市民の福祉と健康	16	1,800	1,107	61.5
2	都市の安全と環境	10	1,800	1,062	59.0
3	市民の教育と文化	17	1,800	1,087	60.4
4	市街地の整備	22	1,800	1,150	63.9
5	市民の経済	12	1,800	1,092	60.7
	人権と市民サービス	2			
合 計		79	9,000	5,498	61.1

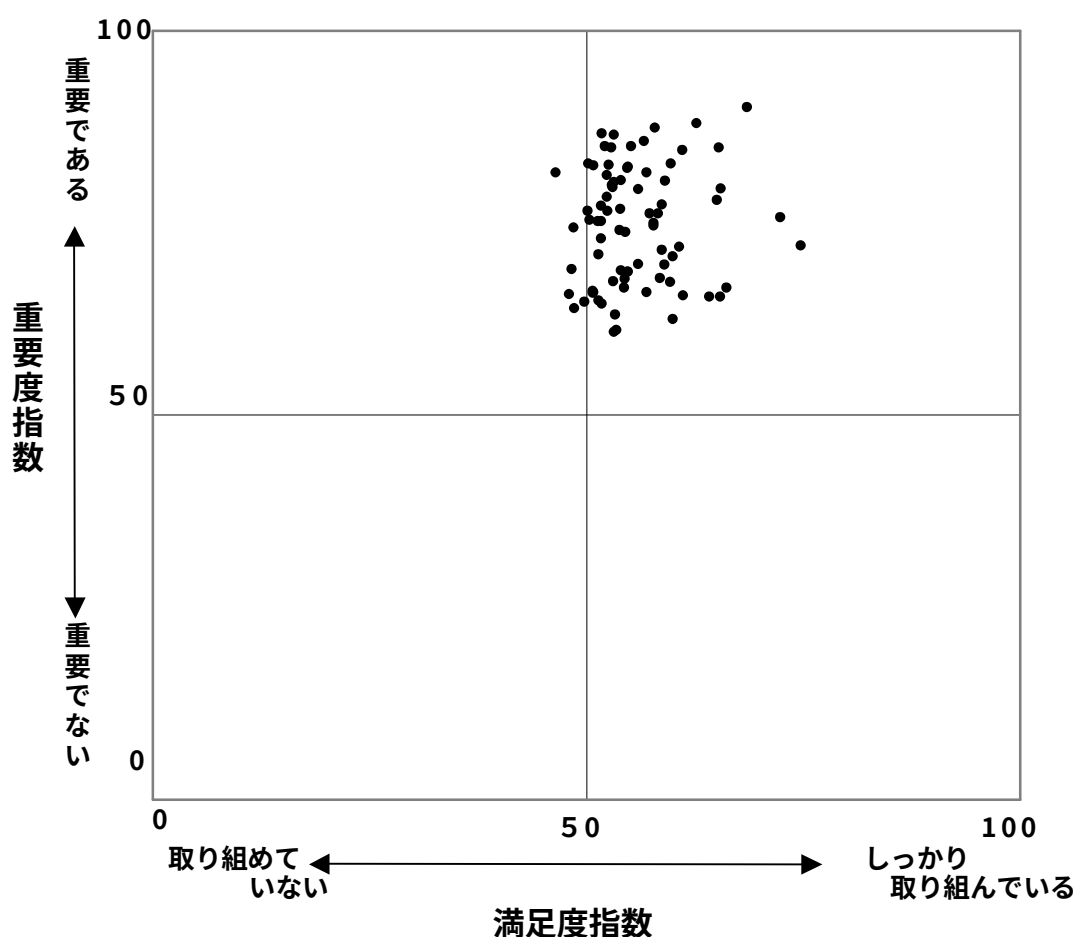
（注）実施計画の柱をもとに、施策数がほぼ同じ程度になるよう5分割して調査票を作成し、1,800人ずつに配布、回収した。

■ 施策に対する全体的な満足度、重要度

- 全体的に、市は施策にしっかり取り組んでおり、施策は重要なものであると評価されている。

施策別の満足度、重要度を指数により表し、その関係を散布図として示すと、次のとおりです（図表 I - 1 - 1）。満足度では、大半の施策が指数 50 を超え、重要度では、全ての施策が指数 50 を超えています。

〔図表 I - 1 - 1〕 満足度指数と重要度指数による施策散布図



■ 満足度、重要度の特に高い施策

- 満足度の最も高い施策は「2005年日本国際博覧会の推進」。また、空港、港湾を含む交通関連の施策が満足度の上位施策を占めている。
- 重要度の最も高い施策は「安定した給水サービスの提供」。また、防災関連の施策も重要度が高い。

満足度、重要度について、それぞれ上位10位までの施策をあげると次のとおりです（図表 I -1-2）。

〔図表 I -1-2〕 上位10施策

満足度 (上位10施策)	1位	2005年日本国際博覧会の推進
	2位	新交流時代にふさわしい中部国際空港の整備と国際・広域交流の促進
	3位	安定した給水サービスの提供
	4位	活力・親しみ・環境と共生する港づくり
	5位	都市の活力と魅力を生み出す総合交通体系の形成
	6位	都市機能が集積し活気に満ちた都心域の形成
	7位	循環型社会構築に向けた3Rの推進
	8位	利便性が高いアクセスの整備
	9位	広域交通ネットワークの強化
	10位	安全で適正なごみ処理の推進
重要度 (上位10施策)	1位	安定した給水サービスの提供
	2位	安全で適正なごみ処理の推進
	3位	大雨に強いまちづくり
	4位	地震や火災に強いまちづくり
	5位	市民とともに築く地域の安全
	6位	適切で迅速な医療とリハビリテーションの充実
	7位	災害から市民を守る体制の整備
	8位	安心して介護が受けられる仕組みづくり
	9位	感染症対策および健康危機管理の推進
	10位	循環型社会構築に向けた3Rの推進

■ 満足度、重要度の特に低い施策

- 満足度の最も低い施策は「援助を必要とする子どもと家庭の自立の支援」。次いで「合理的な土地利用の促進・総合的で多様なまちづくりの推進」、「独創的な中小企業の育成」となっている。
- 重要度の最も低い施策は「豊かで活力ある地域の情報化」。次いで「新たな文化創造・文化活動への支援」、「個性的な都市景観の形成」となっている。

満足度、重要度について、それぞれ下位10位までの施策をあげると次のとおりです（図表 I - 1 3）。

〔図表 I - 1 3〕 下位10施策

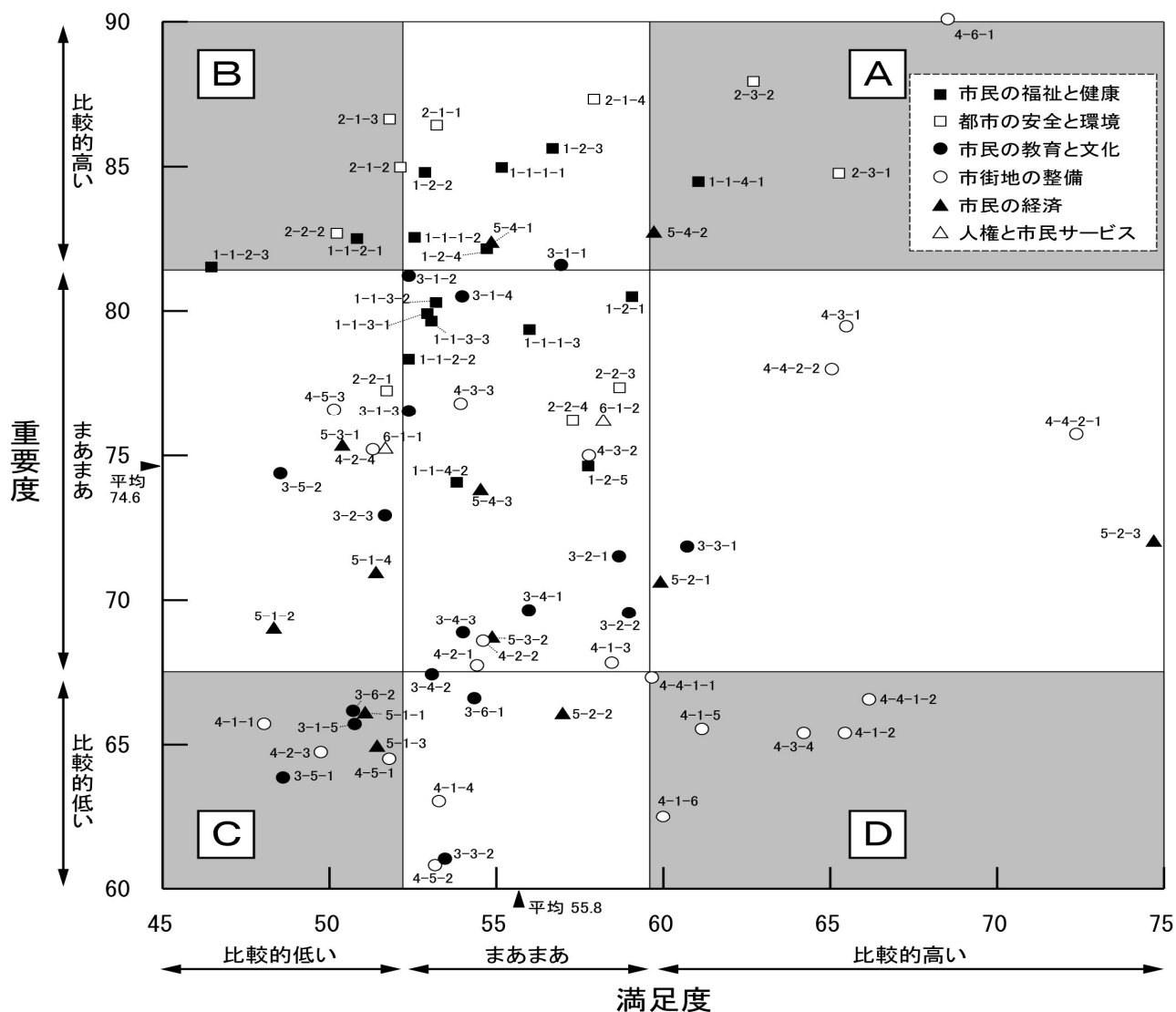
満足度 (下位10施策)	1位	援助を必要とする子どもと家庭の自立の支援
	2位	合理的な土地利用の促進・総合的で多様なまちづくりの推進
	3位	独創的な中小企業の育成
	4位	女性の人権の尊重
	5位	男女平等参画の総合的な推進
	6位	市民とともにすすめるすまい・まちづくり
	7位	安全な情報環境づくり
	8位	公害のない快適な生活環境の確保
	9位	安定した農業基盤の確保
	10位	外国人市民が暮らしやすいまちづくり
重要度 (下位10施策)	1位	豊かで活力ある地域の情報化
	2位	新たな文化創造・文化活動への支援
	3位	個性的な都市景観の形成
	4位	計画的な新市街地の形成
	5位	男女平等参画の総合的な推進
	6位	市民サービスの向上と行政の効率化
	7位	市民とともにすすめるすまい・まちづくり
	8位	研究開発の促進
	9位	広域交通ネットワークの強化
	10位	都市機能が集積し活気に満ちた都心域の形成

■ 施策別の満足度、重要度

- 「市民の福祉と健康」及び「都市の安全と環境」に関連する施策については、満足度はまあまあの評価が多く、重要度は全体的に比較的高い評価が多い。
- 「市街地の整備」に関連する施策については、満足度は比較的高い評価が多いが、一方で、重要度は比較的低い評価が多い。
- 「市民の教育と文化」に関連する施策については、満足度、重要度ともに、まあまあの評価が多い。

満足度と重要度を、指数により「比較的高い」、「まあまあ」、「比較的低い」の3段階に区分し、各施策の満足度指数、重要度指数による関係を散布図としてグラフに表すと次のとおりです（図表 I -1 4）。

〔図表 I -1 4〕 3段階評価及び指数による施策の散布状況



（注）図表中の記号は、次ページの施策名一覧に対応しています。

施策名一覧

1. 市民の福祉と健康

1-1 福祉

1-1-1 高齢者福祉

1-1-1-1 安心して介護が受けられる仕組みづくり

1-1-1-2 地域において安心して生活できるための支援

1-1-1-3 健康で生きがいを感じられる生活への支援

1-1-2 児童福祉

1-1-2-1 子どもを生み育てやすい環境づくり

1-1-2-2 子どもが健やかに育つ環境づくり

1-1-2-3 援助を必要とする子どもと家庭の自立の支援

1-1-3 障害児・障害者福祉

1-1-3-1 地域における自立した生活の実現

1-1-3-2 障害の重度化、重複化および障害者、介護者の高齢化への対応

1-1-3-3 就労の場の確保と社会参加の促進

1-1-4 福祉のまちづくり

1-1-4-1 すべての人にやさしいまちづくりの推進

1-1-4-2 地域で支えあう福祉の促進

1-2 健康

1-2-1 生涯にわたる心身両面の健康づくり

1-2-2 感染症対策および健康危機管理の推進

1-2-3 適切で迅速な医療とリハビリテーションの充実

1-2-4 食品と居住環境の衛生管理

1-2-5 斎場の整備

2. 都市の安全と環境

2-1 災害の防止

2-1-1 市民とともに築く地域の安全

2-1-2 災害から市民を守る体制の整備

2-1-3 地震や火災に強いまちづくり

2-1-4 大雨に強いまちづくり

2-2 環境の保全と緑化

2-2-1 環境保全活動の促進

2-2-2 公害のない快適な生活環境の確保

2-2-3 緑豊かなまちづくり

2-2-4 うるおいのある水辺環境の創出

2-3 廃棄物の減量と処理

2-3-1 循環型社会構築に向けた3Rの推進

2-3-2 安全で適正なごみ処理の推進

3. 市民の教育と文化

3-1 学校教育

3-1-1 幼児教育

3-1-2 小中学校教育

3-1-3 高等学校教育

3-1-4 障害児教育

3-1-5 市立大学

3-2 生涯学習・スポーツ・レクリエーション

3-2-1 生涯学習の推進

3-2-2 生涯スポーツの振興

3-2-3 健全な青少年の育成

3-3 文化

3-3-1 歴史・文化の保存継承と情報発信

3-3-2 新たな文化創造・文化活動への支援

3-4 コミュニティ・市民活動

3-4-1 コミュニティ活動の支援

3-4-2 市民活動の支援

3-4-3 魅力ある地域づくりの推進

3-5 男女平等参画

3-5-1 男女平等参画の総合的な推進

3-5-2 女性の人権の尊重

3-6 国際都市

3-6-1 国際交流・国際協力の推進

3-6-2 外国人市民が暮らしやすいまちづくり

4. 市街地の整備

4-1 市街地整備

4-1-1 合理的な土地利用の促進・総合的で多様なまちづくりの推進

4-1-2 都市機能が集積し活気に満ちた都心域の形成

4-1-3 安全で快適な既成市街地の再生

4-1-4 計画的な新市街地の形成

4-1-5 魅力的な港・臨海域の形成

4-1-6 個性的な都市景観の形成

4-2 住宅

4-2-1 良質な住宅の形成

4-2-2 いきいきとした交流の促進

4-2-3 市民とともにすすめるすまい・まちづくり

4-2-4 安全で快適な住宅地の整備

4-3 交通

4-3-1 都市の活力と魅力を生み出す総合交通体系の形成

4-3-2 人にやさしく安全で快適な交通体系の形成

4-3-3 環境にやさしい交通体系の形成

4-3-4 広域交通ネットワークの強化

4-4 港湾・空港

4-4-1 港湾

4-4-1-1 国際競争力の高い港づくり

4-4-1-2 活力・親しみ・環境と共生する港づくり

4-4-2 空港

4-4-2-1 新交流時代にふさわしい中部国際空港の整備と国際・広域交流の促進

4-4-2-2 利便性が高いアクセスの整備

4-5 情報・通信

4-5-1 市民サービスの向上と行政の効率化

4-5-2 豊かで活力ある地域の情報化

4-5-3 安全な情報環境づくり

4-6 水

4-6-1 安定した給水サービスの提供

5. 市民の経済

5-1 産業振興

5-1-1 多様なリーディング産業群の育成

5-1-2 独創的な中小企業の育成

5-1-3 研究開発の促進

5-1-4 活気と魅力にあふれた地域商業地づくり

5-2 観光・コンベンション

5-2-1 特色や魅力を生かした集客力の向上

5-2-2 観光・コンベンション都市としての交流の促進

5-2-3 2005年日本国際博覧会の推進

5-3 都市農業

5-3-1 安定した農業基盤の確保

5-3-2 ふれあい農業の推進

5-4 消費者・勤労者

5-4-1 消費生活の安定・向上

5-4-2 生鮮食料品等の安定供給

5-4-3 勤労者福祉の増進

6. 人権と市民サービス

6-1 人権と市民サービス

6-1-1 人権

6-1-2 市民サービス

■ 3段階評価による施策別の満足度、重要度

- 満足度、重要度ともに比較的高い施策には、「廃棄物の減量と処理」、「水」に関連する施策などが含まれている。
- 満足度、重要度ともに比較的低い施策には、「男女平等参画」、「産業振興」に関連する施策などが含まれている。
- 満足度が比較的高く、対照的に、重要度が比較的低い施策には、「市街地整備」、「港湾」に関連する施策などが含まれている。
- 満足度が比較的低く、対照的に、重要度が比較的高い施策には、「児童福祉」、「災害の防止」に関連する施策などが含まれている。

図表 I - 1 4のグラフにおいて、A、B、C、Dのエリアに入っている施策を表にすると次のとおりです（図表 I - 1 5）。

〔図表 I - 1 5〕 3段階評価別の主な結果

エリア	3段階評価	施 策
A	満足度：比較的高い 重要度：比較的高い	すべての人にやさしいまちづくりの推進
		循環型社会構築に向けた3Rの推進
		安全で適正なごみ処理の推進
		安定した給水サービスの提供
		生鮮食料品等の安定供給
B	満足度：比較的低い 重要度：比較的高い	子どもを生み育てやすい環境づくり
		援助を必要とする子どもと家庭の自立の支援
		災害から市民を守る体制の整備
		地震や火災に強いまちづくり
		公害のない快適な生活環境の確保
C	満足度：比較的低い 重要度：比較的低い	市立大学
		男女平等参画の総合的な推進
		外国人市民が暮らしやすいまちづくり
		合理的な土地利用の促進・総合的で多様なまちづくりの推進
		市民とともにすすめるすまい・まちづくり
		市民サービスの向上と行政の効率化
		多様なリーディング産業群の育成
D	満足度：比較的高い 重要度：比較的低い	研究開発の促進
		都市機能が集積し活気に満ちた都心域の形成
		魅力的な港・臨海域の形成
		個性的な都市景観の形成
		広域交通ネットワークの強化
		国際競争力の高い港づくり
		活力・親しみ・環境と共生する港づくり

【参 考】 部門別に3段階評価別の施策数をまとめました（図表 I -1-6）。

〔図表 I -1-6〕 部門別評価別施策数

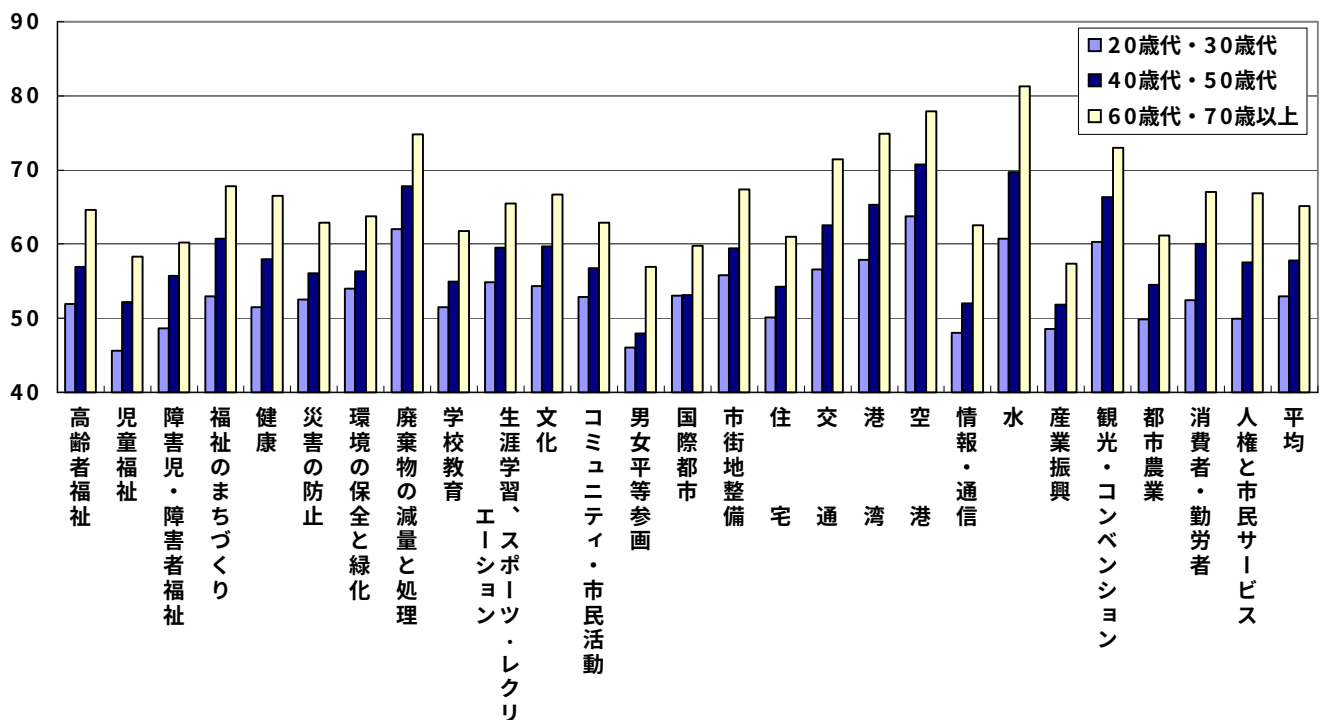
部 門	満足度			重要度		
	比較的 高い ☆☆☆	まあまあ ☆☆	比較的 低い ☆	比較的 高い ☆☆☆	まあまあ ☆☆	比較的 低い ☆
高齢者福祉		3		2	1	
児童福祉		1	2	2	1	
障害児・障害者福祉		3			3	
福祉のまちづくり	1	1		1	1	
健康		5		3	2	
災害の防止		2	2	4		
環境の保全と緑化		2	2	1	3	
廃棄物の減量と処理	2			2		
学校教育		4	1	1	3	1
生涯学習、スポーツ・レクリエーション		2	1		3	
文化	1	1			1	1
コミュニティ・市民活動		3			2	1
男女平等参画			2		1	1
国際都市		1	1			2
市街地整備	3	2	1		1	5
住 宅		2	2		3	1
交 通	2	2			3	1
港 湾	2					2
空 港	2				2	
情報・通信		1	2		1	2
水	1			1		
産業振興			4		2	2
観光・コンベンション	2	1			2	1
都市農業		1	1		2	
消費者・勤労者	1	2		2	1	
人権と市民サービス		1	1		2	
計	17	40	22	19	40	20

■ 年齢別・部門別の満足度

- 全ての部門で、世代間の満足度の差は大きく、年代が高いほど満足度が高い。
- 世代間で満足度の差が最も大きい部門は、「水」、「港湾」、「人権と市民サービス」の順となっている。

20歳代・30歳代、40歳代・50歳代、60歳代・70歳以上の年齢別に、満足度指数を平均し、部門別にまとめると次のとおりです（図表 I - 1 - 7）。

〔図表 I - 1 - 7〕 年齢別・部門別満足度



満足度の高い部門（年齢別上位3部門）

	20歳代・30歳代	40歳代・50歳代	60歳代・70歳以上
1位	空港	空港	水
2位	廃棄物の減量と処理	水	空港
3位	水	廃棄物の減量と処理	港湾

満足度の低い部門（年齢別下位3部門）

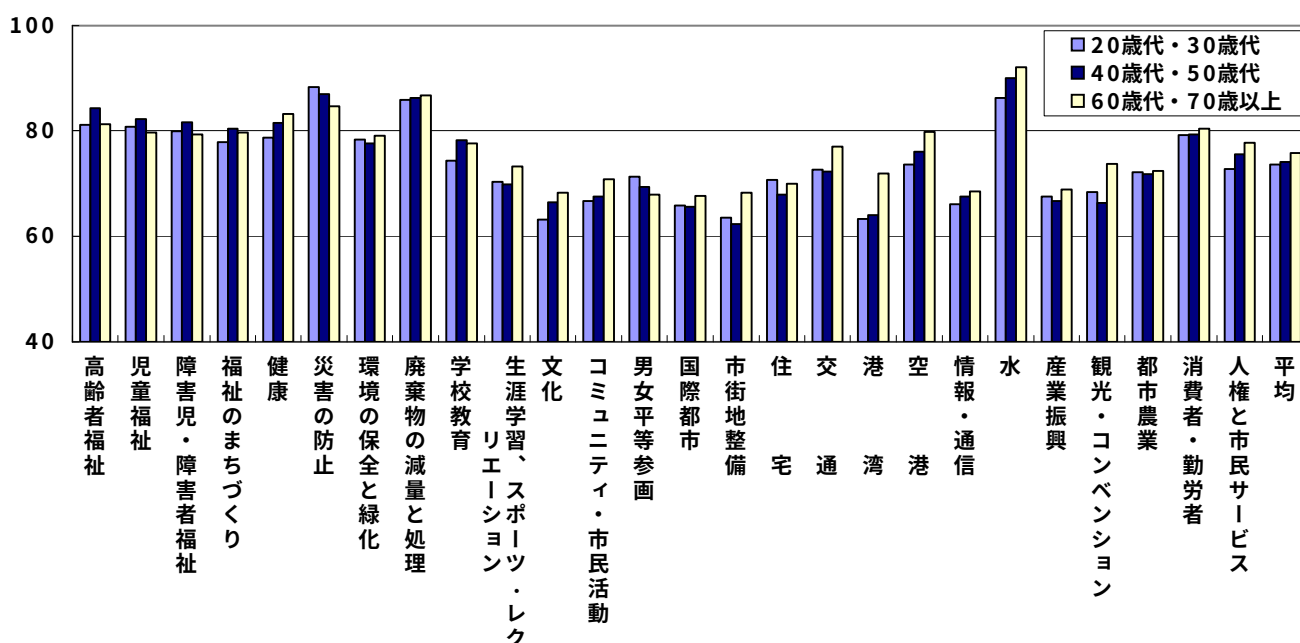
	20歳代・30歳代	40歳代・50歳代	60歳代・70歳以上
1位	児童福祉	男女平等参画	男女平等参画
2位	男女平等参画	産業振興	産業振興
3位	情報・通信	情報・通信	児童福祉

■ 年齢別・部門別の重要度

- 満足度に比べ、重要度の世代間の差は小さいが、比較的差が大きい部門は「港湾」、「観光・コンベンション」、「空港」の順となっている。
- 年代が高いほど重要度が高い部門が多いが、「災害の防止」、「男女平等参画」は、年代が高いほど低く、「住宅」は、20歳代・30歳代で最も高く、40歳代・50歳代で最も低い。また、福祉に関連する部門と「学校教育」は、40歳代・50歳代で最も高いのが特徴的である。

20歳代・30歳代、40歳代・50歳代、60歳代・70歳以上の年齢別に、重要度指数を平均し、部門別にまとめると次のとおりです（図表 I - 18）。

〔図表 I - 18〕 年齢別・部門別重要度



重要度の高い部門（年齢別上位3部門）

	20歳代・30歳代	40歳代・50歳代	60歳代・70歳以上
1位	災害の防止	水	水
2位	水	災害の防止	廃棄物の減量と処理
3位	廃棄物の減量と処理	廃棄物の減量と処理	災害の防止

重要度の低い部門（年齢別下位3部門）

	20歳代・30歳代	40歳代・50歳代	60歳代・70歳以上
1位	文化	市街地整備	国際都市
2位	港湾	港湾	男女平等参画
3位	市街地整備	国際都市	市街地整備

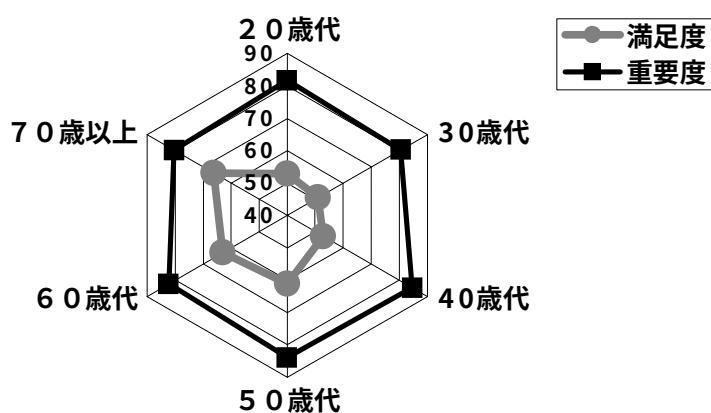
■ 特定部門の満足度、重要度

- 対象年齢が主に特定される部門をみると、「高齢者福祉」では年代が高いほど満足度が高く、「児童福祉」では年代が低いほど満足度が低い傾向がある。

施策は、幅広くあらゆる市民を対象として取り組まれています。なかには、特定の年齢層を主な対象としている施策もあります。

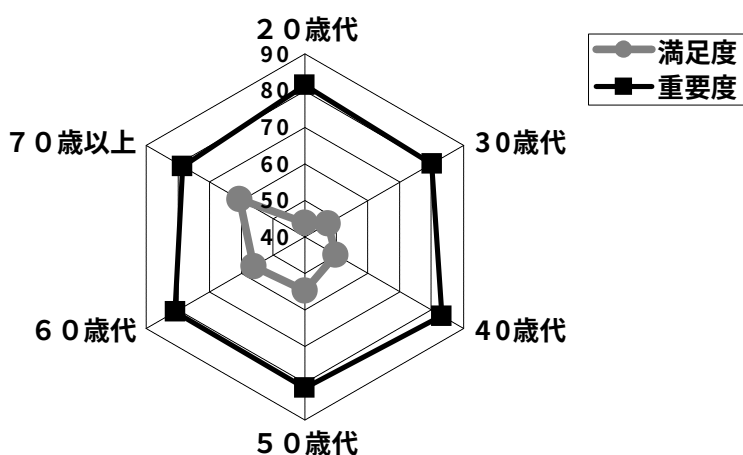
高齢者を主な対象としている「高齢者福祉」について、年齢による違いをグラフに表すと次のとおりです（図表 I - 1 9）。

〔図表 I - 1 9〕 高齢者福祉に関する年齢別状況



子育て世代、子育て家庭を主な対象としている「児童福祉」について、年齢による違いをグラフに表すと次のとおりです（図表 I - 1 10）。

〔図表 I - 1 10〕 児童福祉に関する年齢別状況

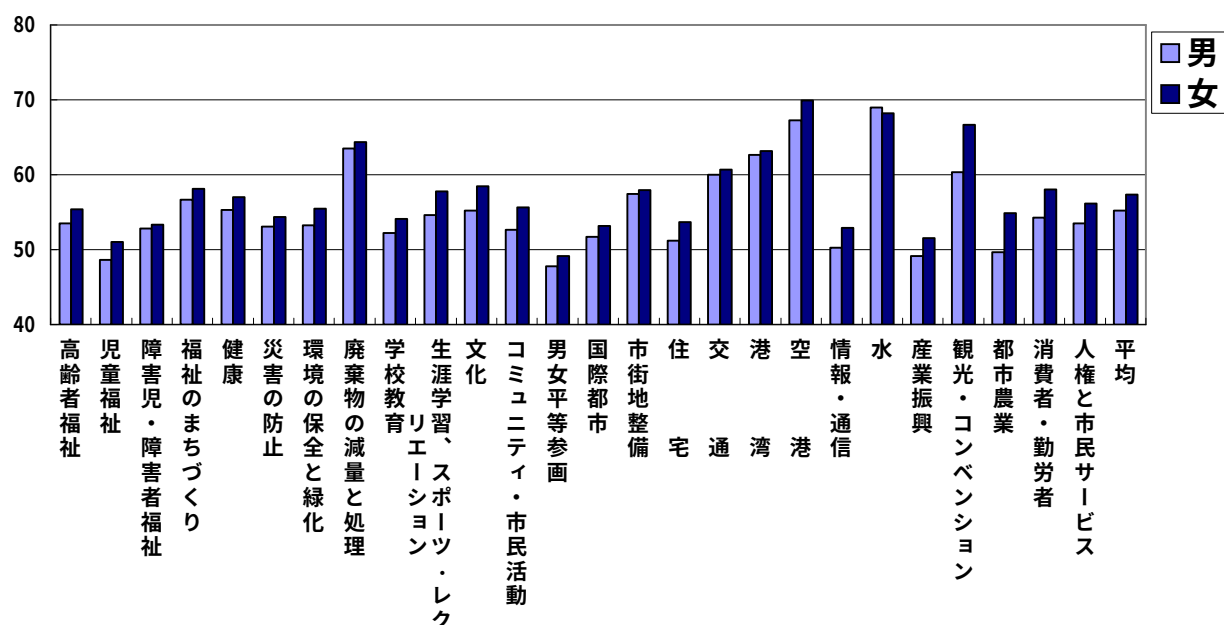


■ 男女別・部門別の満足度

- 部門間の相対的な満足度の傾向は、男性と女性で大きな違いはない。
- 全体的には、満足度は、男性より女性の方がやや高いが、「水」の満足度は、女性より男性の方がやや高く、「観光・コンベンション」、「都市農業」の満足度は、女性が男性より著しく高いのが特徴的である。

男女別に満足度指数を平均し、部門別にまとめると次のとおりです（図表 I -1-11）。

〔図表 I -1-11〕 男女別・部門別満足度



満足度の高い部門（男女別上位3部門）

	男性	女性
1位	水	空港
2位	空港	水
3位	廃棄物の減量と処理	観光・コンベンション

満足度の低い部門（男女別下位3部門）

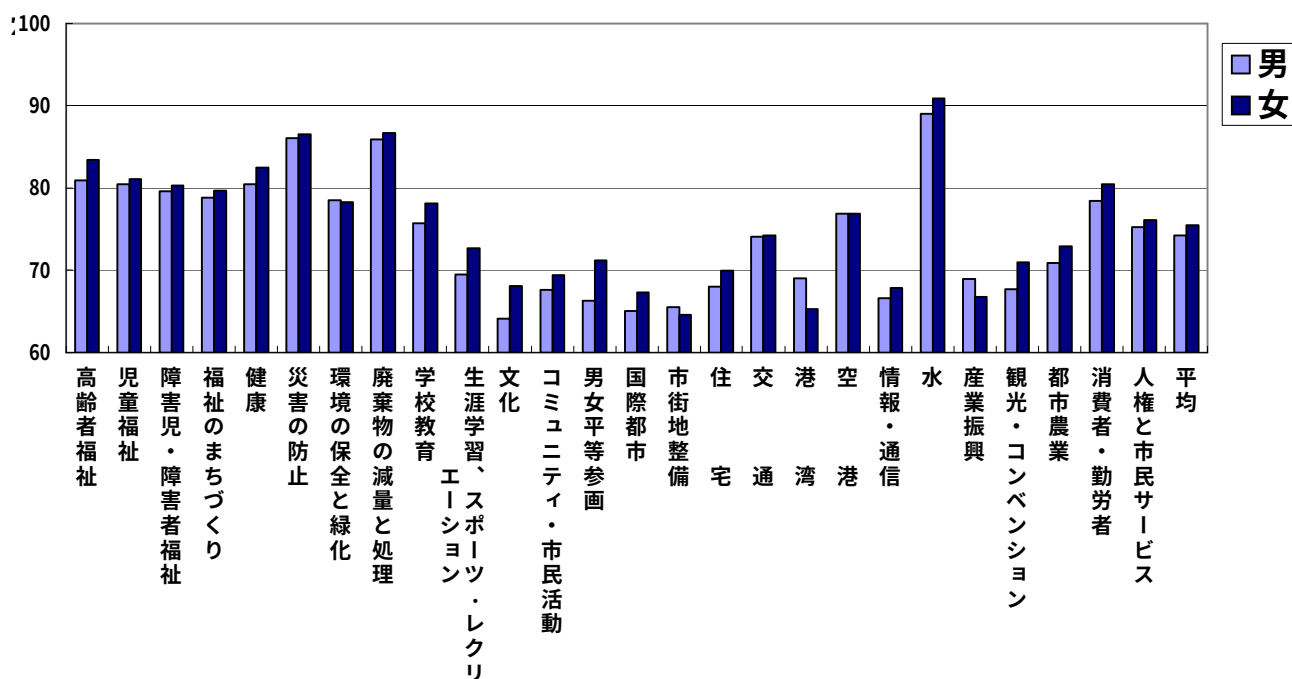
	男性	女性
1位	男女平等参画	男女平等参画
2位	児童福祉	児童福祉
3位	産業振興	産業振興

■ 男女別・部門別の重要度

- 部門間の相対的な重要度の傾向は、男性と女性で大きな違いはない。
- 全体的には、重要度は、男性より女性の方がやや高いが、「環境の保全と緑化」、「市街地整備」、「港湾」、「空港」、「産業振興」の重要度は、男性が女性より高く、「文化」、「男女平等参画」の重要度は、女性が男性より著しく高いのが特徴的である。

男女別に重要度指数を平均し、部門別にまとめると次のとおりです（図表 I -1-12）。

〔図表 I -1-12〕 男女別・部門別重要度



重要度の高い部門（男女別上位3部門）

	男性	女性
1位	水	水
2位	災害の防止	廃棄物の減量と処理
3位	廃棄物の減量と処理	災害の防止

重要度の低い部門（男女別下位3部門）

	男性	女性
1位	文化	市街地整備
2位	国際都市	港湾
3位	市街地整備	産業振興

2 数値目標の進捗状況

- 数値目標のおよそ8割は順調に進捗している。

名古屋新世紀計画2010第2次実施計画の113の数値目標について、平成16年度の実績値がどのような進捗状況にあるのかを「順調」、「やや遅れ」、「遅れ」の3段階に区分し、評価しました。

数値目標は、施策ごとに1つから3つあり、それぞれ平成18年度と22年度に達成をめざす目標値があります。進捗状況は、施策の進捗状況を表しているものではなく、これら数値目標の18年度に向けた進捗状況を示すものです。

113の数値目標の、平成16年度の進捗状況は、「＊」を除く89項目のうち、およそ8割が順調に進捗しています。評価結果の内訳は以下のとおりです(図表I-2-1)。

〔図表 I - 2 - 1〕 進捗状況別数値目標数

部門	順調 ☆☆☆	やや遅れ ☆☆	遅れ ☆	＊
高齢者福祉	3			1
児童福祉	2		1	1
障害児・障害者福祉			3	
福祉のまちづくり	2			1
健康	6		1	1
災害の防止	7			
環境の保全と緑化	4		2	
廃棄物の減量と処理	1	2	1	
学校教育	7			1
生涯学習、スポーツ・レクリエーション				3
文化	4			1
コミュニティ・市民活動	4			
男女平等参画	2			
国際都市	1	1		
市街地整備	6	1		2
住 宅	3			3
交 通	6		2	
港 湾				2
空 港	1			2
情報・通信	2			2
水	1			
産業振興	1	2		1
観光・コンベンション	1		1	2
都市農業	2		1	
消費者・勤労者	2		1	
人権と市民サービス	1		1	1
計	69	6	14	24

(注) 実績値の把握ができないものには「＊」を付しています。

- 遅れの理由は、対象者数や人口の増加、気象条件などによる。

「遅れ☆」となっている理由は、それぞれ以下のとおりです（図表Ⅰ-2-2）。
進捗状況の詳細については、Ⅲ数値目標の進捗状況（63ページから72ページ）をご覧ください。

〔図表Ⅰ-2-2〕 進捗状況が遅れとなっている理由

施 策	数値目標	遅れ☆の理由
〔児童福祉〕援助を必要とする子どもと家庭の自立の支援	児童養護施設、乳児院からの家庭復帰および自立率	被虐待児など、家庭復帰に相当時間を要する児童が増加していることなどによる。
〔障害児・障害者福祉〕地域における自立した生活の実現	利用している支援費制度の在宅サービスに関する満足度	障害者支援費制度発足当初は、サービスの量的拡大を望む声が高かったが、制度充実にともない、介護技術の向上などサービスの質に対するニーズが高まってきていることによる。
〔障害児・障害者福祉〕障害の重度化、重複化および障害者、介護者の高齢化への対応	在宅重症心身障害児者の通所施設等の利用率	身体障害者デイサービス事業等の拡充により在宅重症心身障害児者の利用者数は増加したが、対象者数も増えたため、利用率についてはほとんど増減がなかったことによる。
〔障害児・障害者福祉〕就労の場の確保と社会参加の促進	授産施設等に通っている知的障害者の割合	平成16年度単年度整備を予定していた授産施設（定員70名分）が、平成16～17年度の2か年事業となったことによる。
〔健康〕適切で迅速な医療とリハビリテーションの充実	市立大学病院における地域医療機関からの紹介患者率	紹介患者初診予約などの実施により、紹介患者が増加したが、一方で初診患者も増加したため、紹介率としては1%の伸びにとどまったことによる。
〔環境の保全と緑化〕環境保全活動の促進	二酸化炭素の排出量	家庭用電気機器の普及、オフィスの床面積の増加、乗用車台数の増加・大型化などによるエネルギー消費量の増加等により、家庭やオフィス、自動車からの二酸化炭素の排出量が増加していることによる。
〔環境の保全と緑化〕緑豊かなまちづくり	市民1人当たりの都市公園等の面積	都市公園等の総面積は増加したが、市の人口も増加したため、1人当たりの面積としては現状維持にとどまったことによる。
〔廃棄物の減量と処理〕循環型社会構築に向けた3Rの推進	ごみと資源の総排出量	世帯数が計画の想定数を上回って増加し、ごみ量が微増するとともに、資源回収量（主に事業系資源回収量）が増加したことによる。
〔交通〕都市の活力と魅力を生み出す総合交通体系の形成	1日の公共交通機関の利用者数	私鉄、バスの乗車人員が減少したことによる。
〔交通〕人にやさしく安全で快適な交通体系の形成	年間交通事故死者数	平成16年は、平成15年に比べて深夜の事故が増えていることなどにより、死者数が4人増加していることによる。長期的にみれば減少傾向（平成10年114人、平成12年88人、平成14年94人）にある。

施 策	数値目標	遅れ☆の理由
〔観光・コンベンション〕 特色や魅力を生かした集客力の向上	観光施設の年間入込客数	度重なる台風の影響により出足が遠のいたことや、新規開設商業施設へ人が流れたことなどが入込客数減少の原因と思われる。
〔都市農業〕 安定した農業基盤の確保	市内産園芸作物の販売数量	平成16年度は作付面積が平成14年度対比で3%減少し、また、度重なる台風の襲来、夏の高温など農産物の生育を阻害する要素が多く収穫量も計画を下回ったため、販売数量が2.8%減少したことによる。
〔消費者・勤労者〕 生鮮食料品等の安定供給	中央卸売市場の年間取扱数量	農水産物の生産量、漁獲量等の減少によるもののほか、消費者ニーズの変化や流通経路の多様化によると考えられる。また、平成16年度については、度重なる台風などの悪天候等により、青果物の出荷量が減少したことも一因となっている。
〔人権と市民サービス〕 人権	基本的人権が尊重されている社会だと思う市民の割合	高齢者、子どもに対する虐待、インターネットを利用した差別的な書き込みやプライバシーの侵害などさまざまな人権問題が発生している現状から、数値の伸び率が低率となったものと考ええる。

3 都市比較

市勢状況や行政サービスの状況を示す各種の指標^{注1}を、既存の統計資料^{注2}に基づき、他の政令指定都市^{注3}と比較することにより、それぞれの指標における名古屋市の位置づけが、大都市のなかでどのような状況にあるのかをみてみました。

この都市比較については、都市ごとに人口、市域面積、地形等の状況に違いがあるため、一律的に取り扱うことはできませんが、名古屋新世紀計画2010第2次実施計画の施策と関連の深い指標、事務事業の改革改善の参考になる指標を集め、部門別に整理し、主だった特徴を掲載しました。詳細については、IV都市比較（73ページから98ページ）をご覧ください。なお、人口、世帯数など、都市比較の前提となる基礎的な統計資料は次のとおりです（図表I-3-1）。

〔図表 I-3-1〕 総人口、男女別人口割合、世帯数、市域面積、人口密度

平成15年10月1日

区 分	総人口 人	男女別人口割合		世帯数 世帯	市域面積 km ²	人口密度 人/km ²
		男性 %	女性 %			
札幌市	1,859,035	47.5	52.5	830,040	1,121.12	1,658
仙台市	1,023,042	48.9	51.1	436,438	788.09	1,298
さいたま市	1,055,890	50.3	49.7	421,895	168.33	6,273
千葉市	912,623	50.3	49.7	369,807	272.08	3,354
川崎市	1,293,618	52.3	48.6	578,005	144.35	8,962
横浜市	3,527,295	50.5	49.5	1,461,030	434.95	8,110
名古屋市	2,193,376	49.7	50.3	932,891	326.45	6,719
京都市	1,465,825	47.8	52.2	639,319	610.22	2,402
大阪市	2,626,635	48.9	51.1	1,215,802	221.96	11,834
神戸市	1,515,864	47.6	52.4	637,006	550.70	2,753
広島市	1,138,442	48.5	51.5	475,225	742.03	1,534
北九州市	1,003,267	47.2	52.8	419,178	485.55	2,066
福岡市	1,380,458	48.1	51.9	632,476	340.60	4,053
平均	1,615,028	49.0	51.0	696,086	477.42	3,383
(東京都区部)	8,340,269	49.6	50.4	4,000,888	621.45	13,421

資料：大都市統計協議会「大都市比較統計年表」

注1 都市別の指標が得られない場合には、当該都市を含む道府県別の指標や施設別の指標を掲載。

注2 大都市比較統計年表をはじめ、広く公表されている統計資料による。

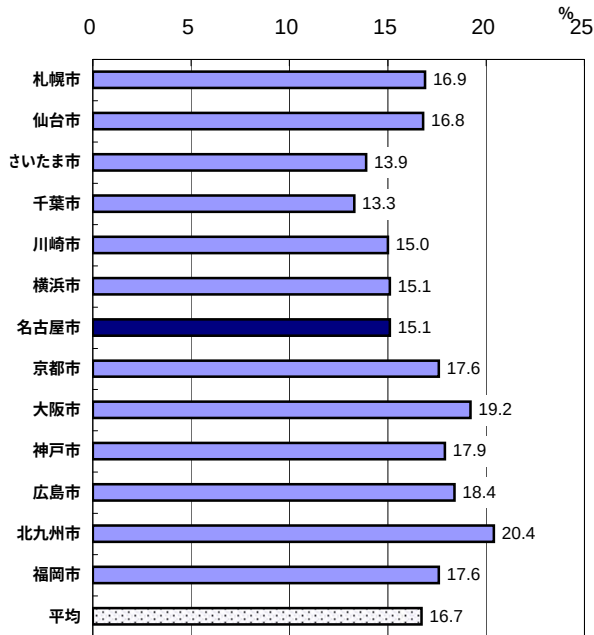
注3 平成16年度現在の13市による。なお、東京都区部に関する指標が得られるものは参考値として掲載。

(1) 市民の福祉と健康

① 高齢者福祉

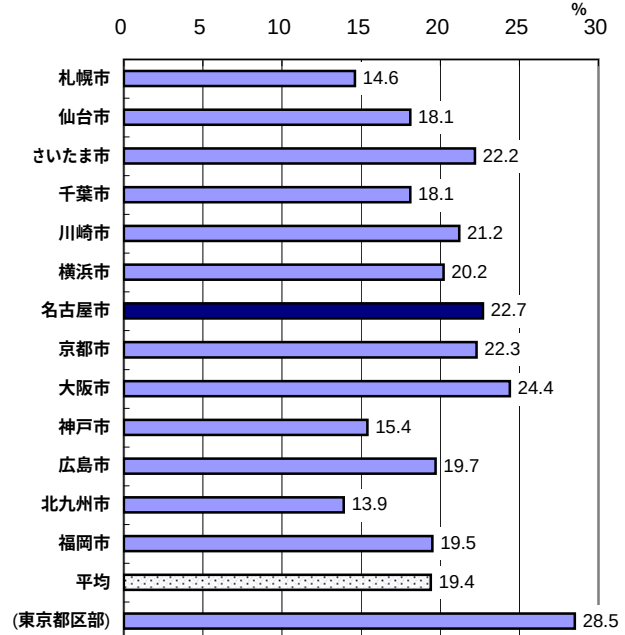
- 介護保険制度の第1号被保険者（65歳以上の被保険者）のうち、要支援・要介護認定を受けている人（要支援・要介護者）の割合は、平均を下回っている。
- 高齢者（65歳以上）の就業率は、平均を上回り、大阪市に次いで2番目に高い。
- 老人福祉施設数を人口10万人当たりでみると、平均を下回っている。
- 老人福祉施設の定員数を人口10万人当たりでみると、ほぼ平均並みである。
- 老人福祉施設の運営主体の公営比率は、平均を上回り、福岡市に次いで2番目に高い。

要支援・要介護者の割合
(第1号被保険者、平成17年3月末)



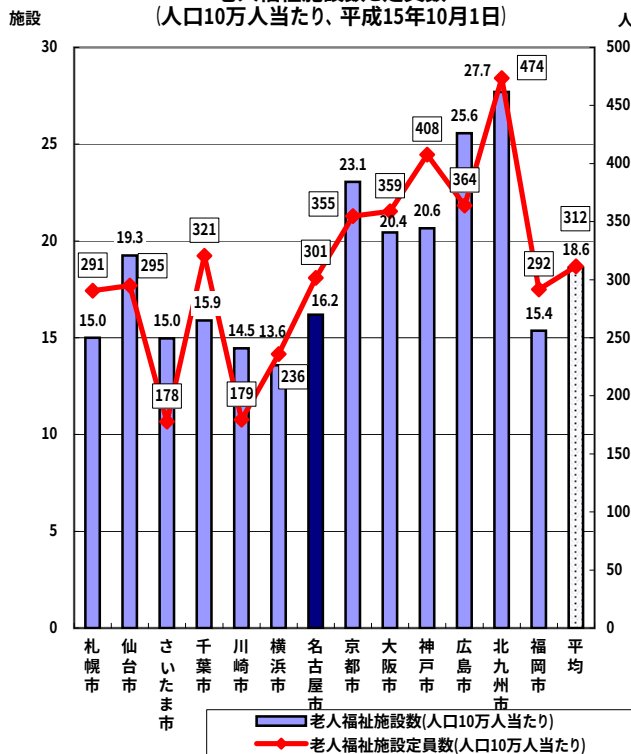
資料：名古屋市「介護保険事業概況」

高齢者就業率 (平成14年10月1日)



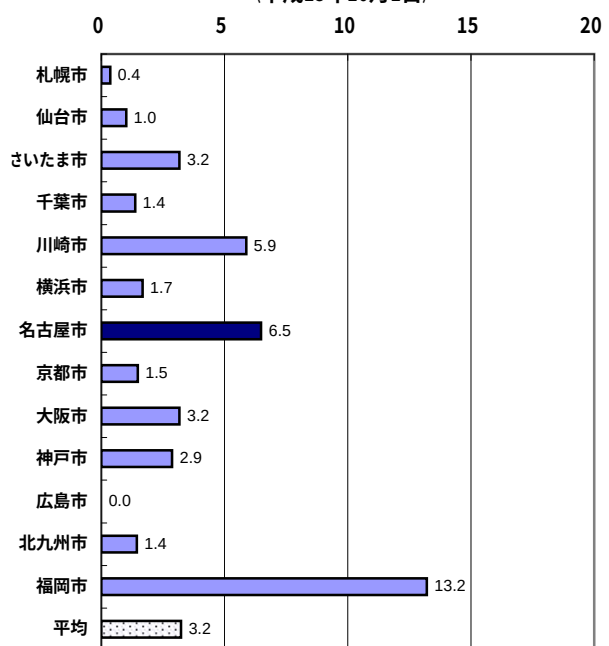
資料：総務省「就業構造基本調査報告」

老人福祉施設数と定員数
(人口10万人当たり、平成15年10月1日)



資料：厚生労働省「社会福祉施設等調査報告」

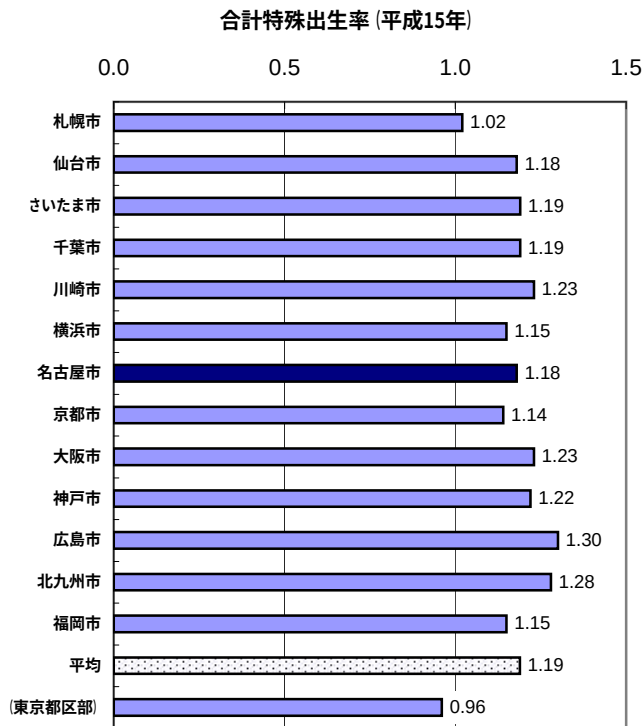
老人福祉施設の運営主体の公営比率
(平成15年10月1日)



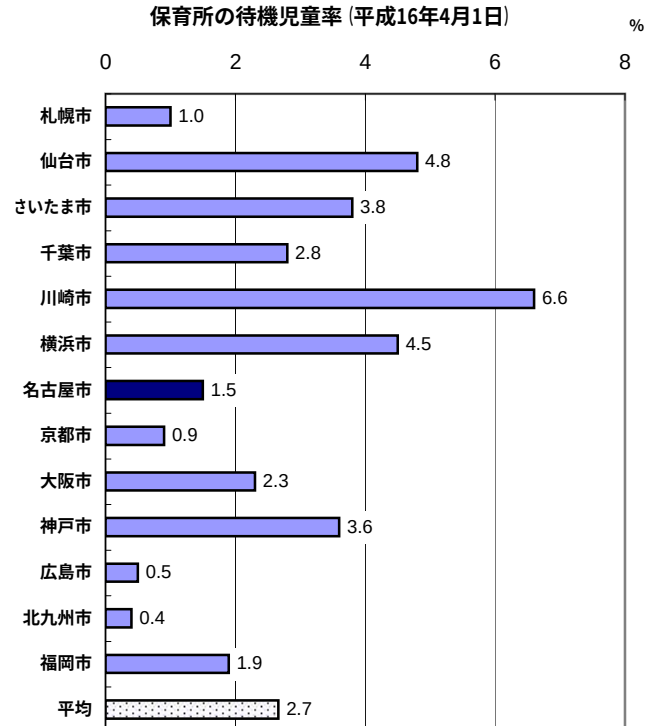
資料：厚生労働省「社会福祉施設等調査報告」「介護サービス施設・事業所調査」

②児童福祉

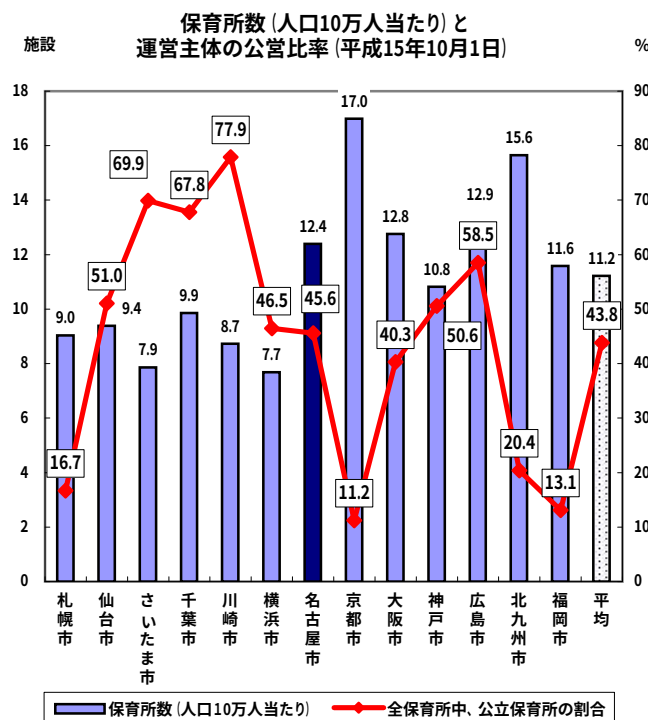
- 合計特殊出生率は、ほぼ平均並みである。
- 保育所の待機児童率は、平均を下回っている。
- 保育所数を人口10万人当たりで見ると、ほぼ平均並みである。また、運営主体の公営比率も、ほぼ平均並みである。
- 児童相談所の児童虐待相談処理件数を人口10万人当たりで見ると、ほぼ平均並みである。



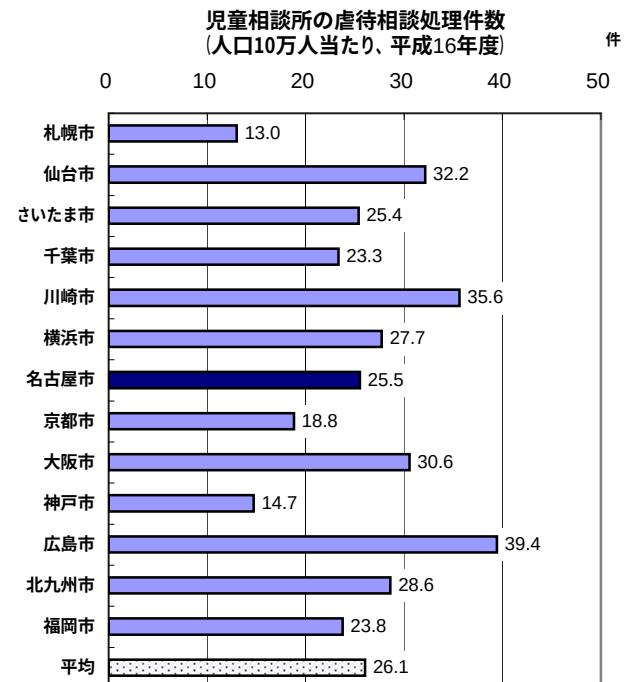
資料：大都市統計協議会「大都市比較統計年表」



資料：厚生労働省ホームページ「保育所の状況等について」



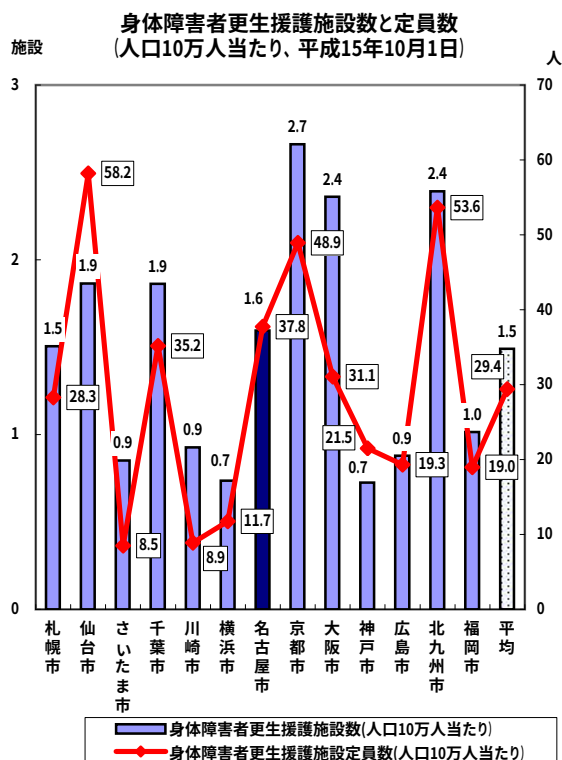
資料：厚生労働省「社会福祉施設等調査報告」



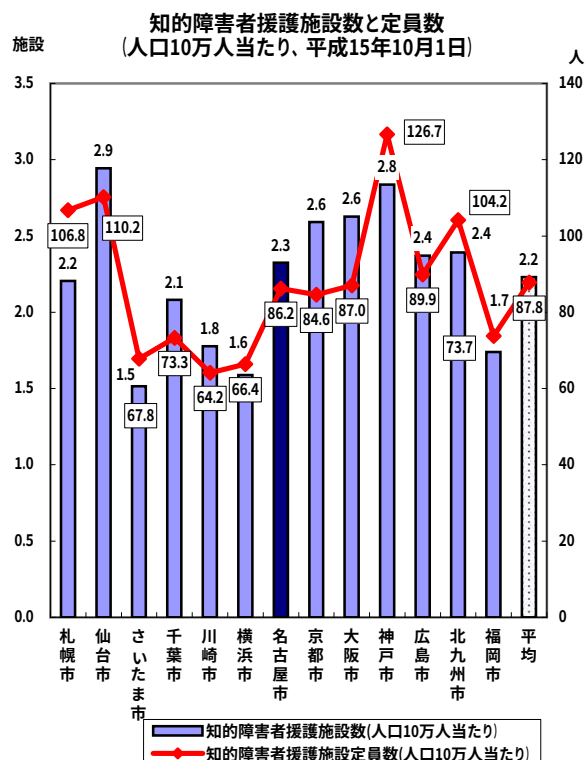
資料：厚生労働省「福祉行政報告例」

③障害児・障害者福祉

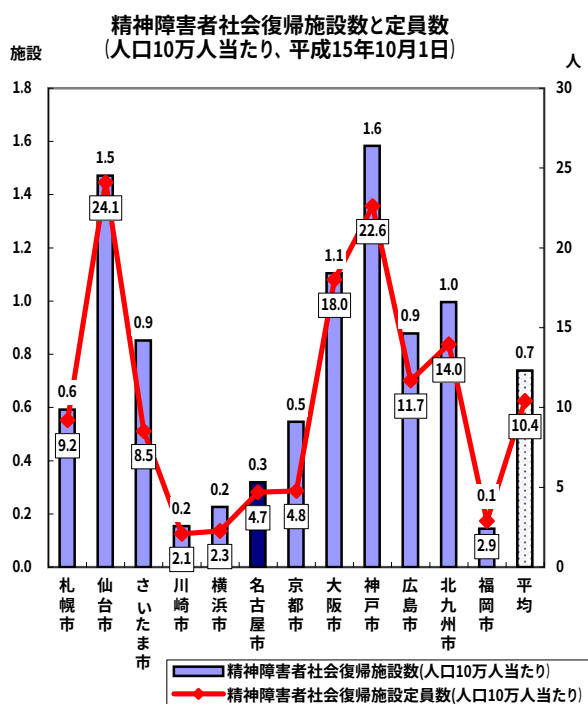
- 身体障害者更生援護施設数を人口10万人当たりでみると、ほぼ平均並みである。また、定員数を人口10万人当たりでみると、平均を上回っている。
- 知的障害者援護施設数を人口10万人当たりでみると、ほぼ平均並みである。また、定員数を人口10万人当たりでみると、ほぼ平均並みである。
- 精神障害者社会復帰施設数を人口10万人当たりでみると、平均を下回っている。また、定員数を人口10万人当たりでみると、平均を下回っている。



資料：厚生労働省「社会福祉施設等調査報告」



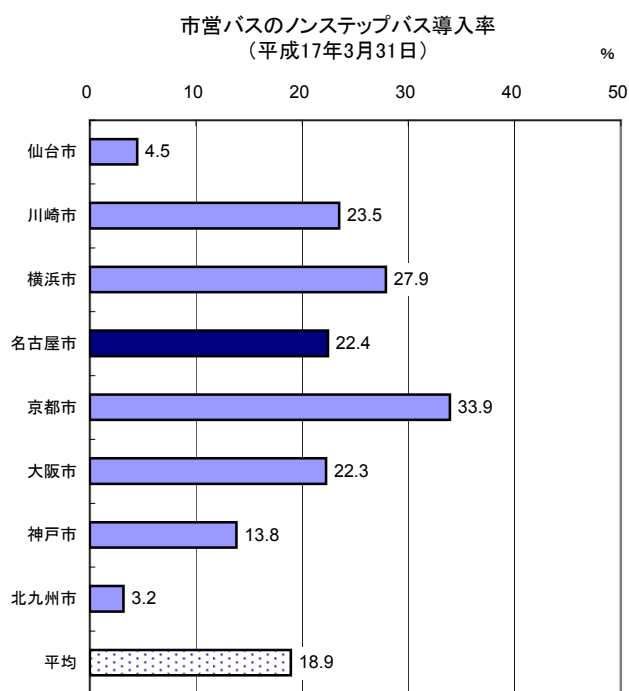
資料：厚生労働省「社会福祉施設等調査報告」



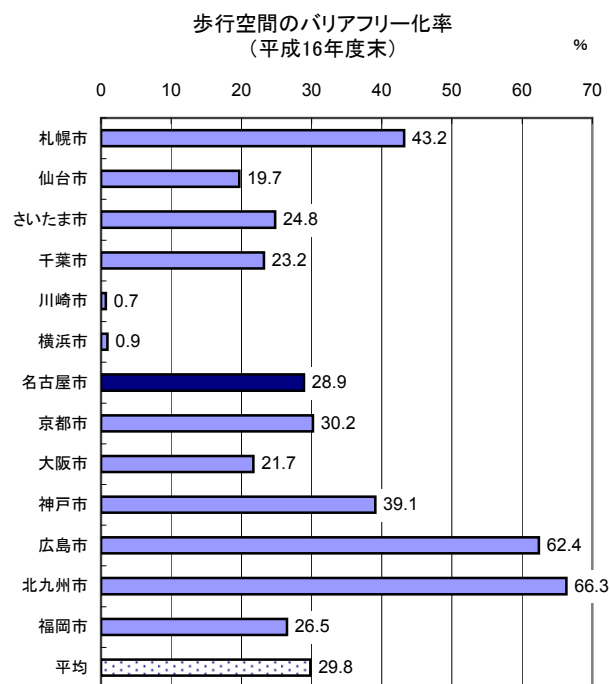
資料：厚生労働省「社会福祉施設等調査報告」

④福祉のまちづくり

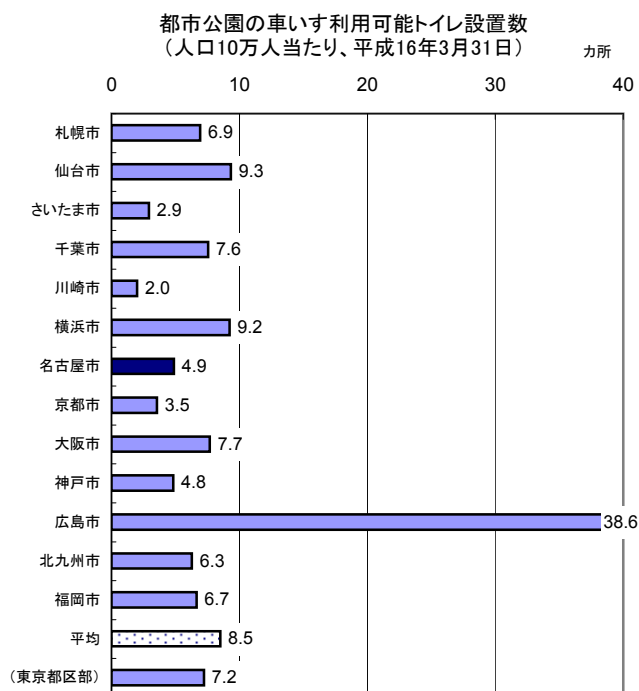
- 市営バスのノンステップバス導入率は、ほぼ平均並みである。
- 歩行空間のバリアフリー化率は、ほぼ平均並みである。
- 都市公園の車いす利用可能トイレ設置数を人口10万人当たりで見ると、平均を下回っている。



資料:国土交通省ホームページ「都道府県バリアフリー情報」



資料:国土交通省「道路行政の達成度報告書」



資料:国土交通省ホームページ「都道府県バリアフリー情報」

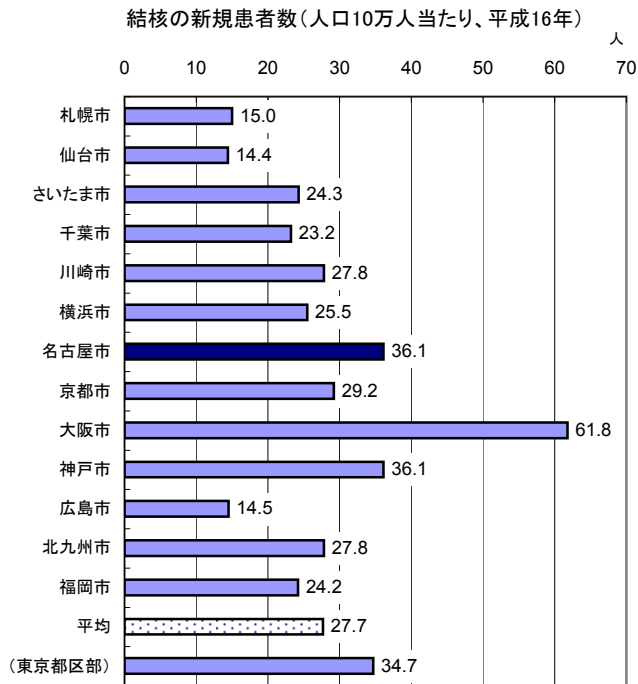
⑤健康

○結核の新規患者数を人口10万人当たりでみると、ほぼ平均並みであるが、神戸市と並び大阪市に次いで2番目に多い。

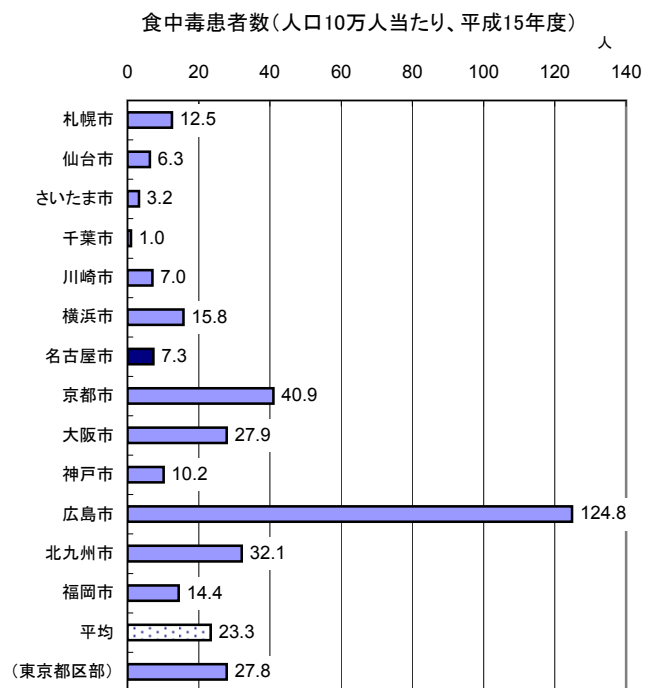
○食中毒患者数を人口10万人当たりでみると、平均を下回っている。

○生活習慣病による死亡者数を人口10万人当たりでみると、平均を上回っている。

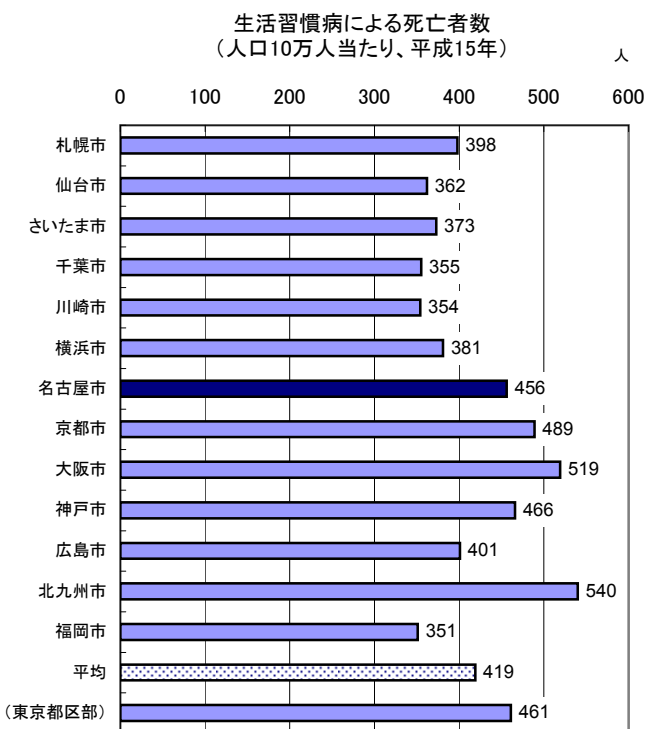
○基本健康診査受診率は、平均を上回り、さいたま市と並び仙台市に次いで2番目に高い。



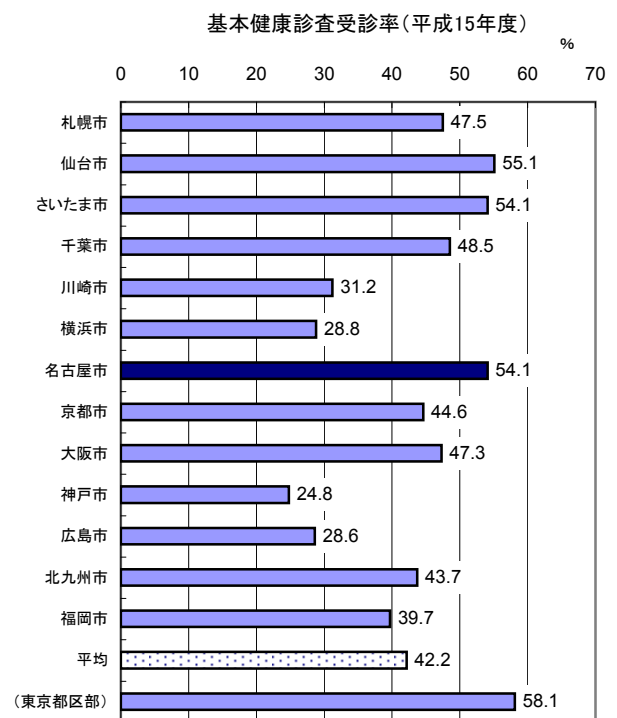
資料:厚生労働省「結核発生動向調査年報」



資料:大都市統計協議会「大都市比較統計年表」



資料:大都市統計協議会「大都市比較統計年表」

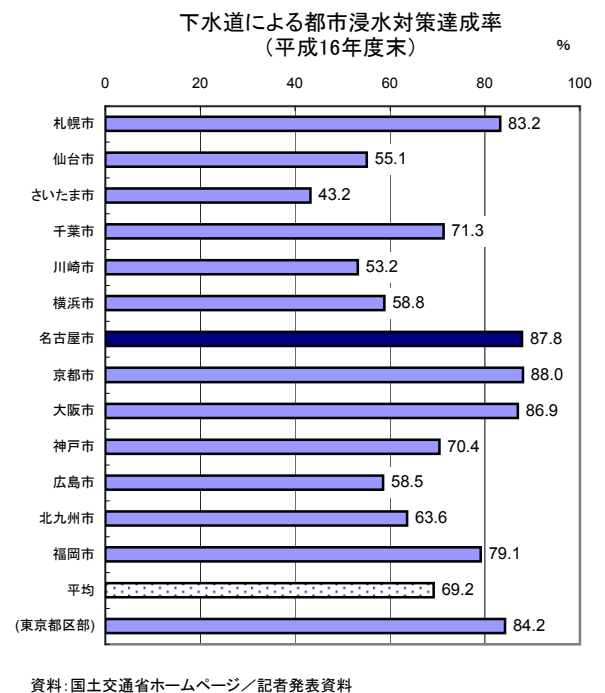
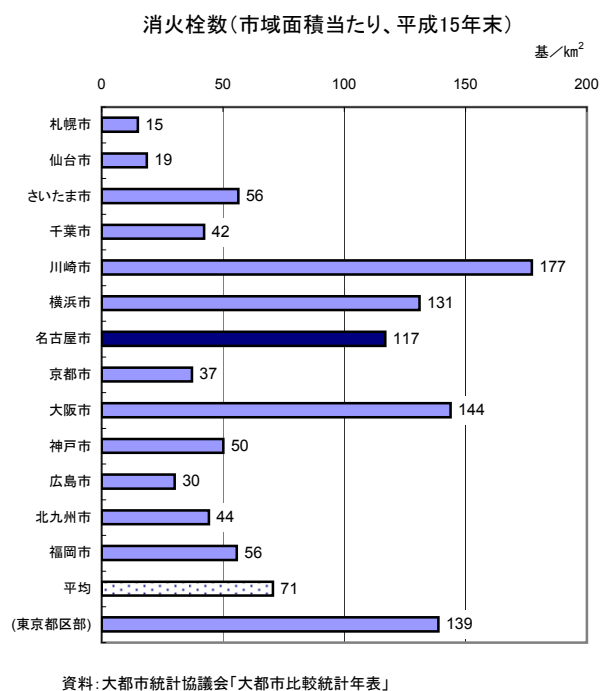
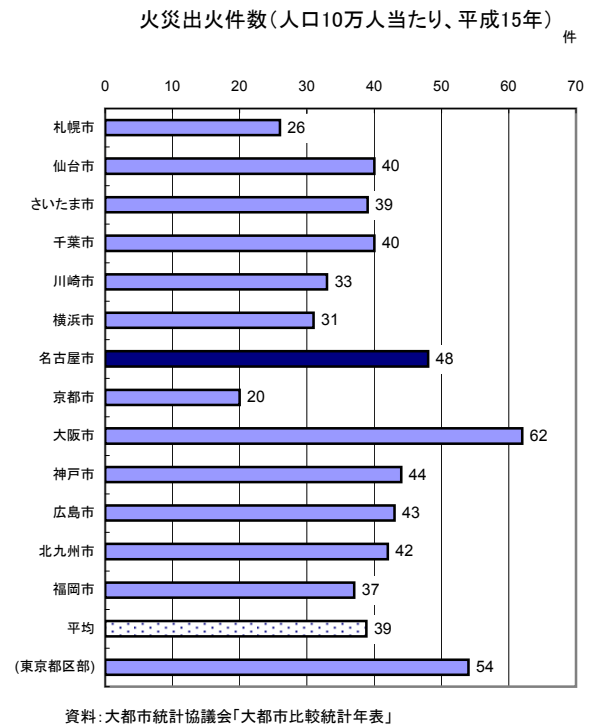
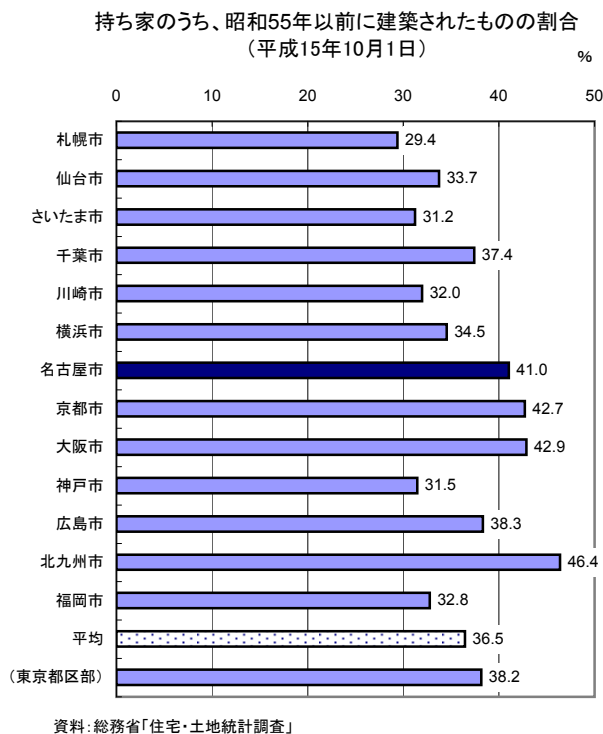


資料:厚生労働省「地域保健・老人保健事業報告」

(2)都市の安全と環境

①災害の防止

- 持ち家のうち、昭和55年以前に建築されたものの割合は、平均を上回っている。
- 火災出火件数を人口10万人当たりでみると、平均を上回り、大阪市に次いで2番目に多い。
- 消火栓数を市域面積当たりでみると、平均を上回っている。
- 下水道による都市浸水対策達成率は、平均を上回り、京都市に次いで2番目に高い。



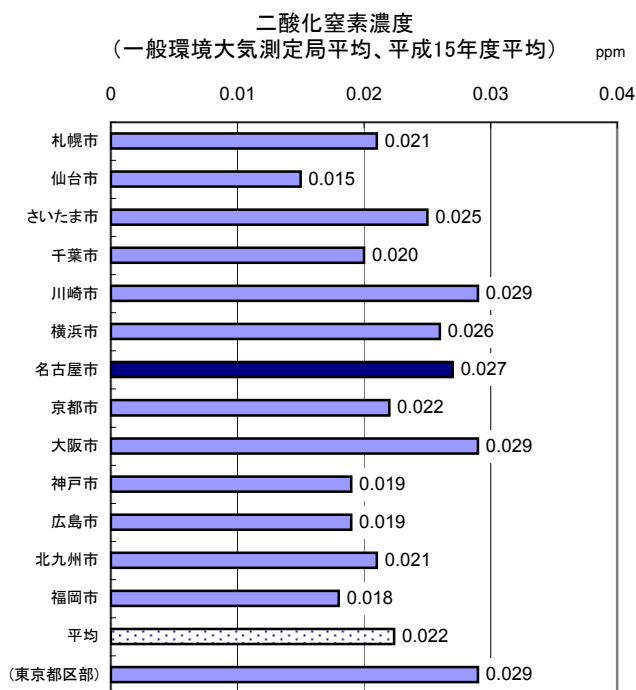
②環境の保全と緑化

○二酸化窒素濃度（一般環境大気測定局平均）は、平均を上回り、大阪市、川崎市に次いで3番目に高い。

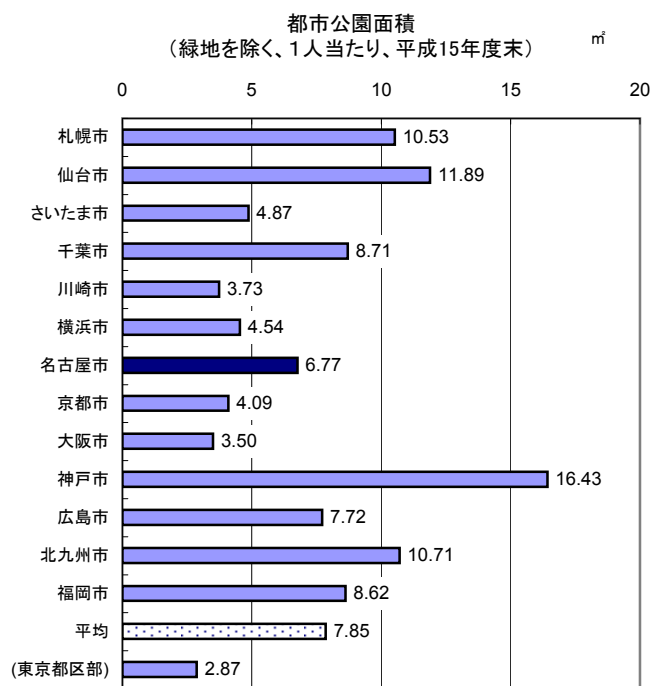
○都市公園面積（緑地を除く）を1人当たりでみると、ほぼ平均並みである。

○緑被率は、最も低い。また、市街化区域の割合を市域面積あたりでみると、平均を上回り、大阪市に次いで2番目に高い。

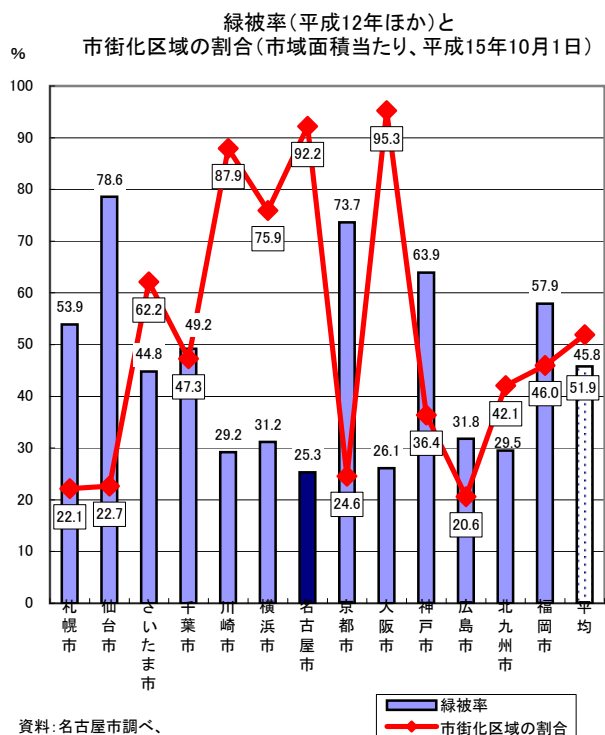
○下水道の人口普及率は、平均を上回っている。



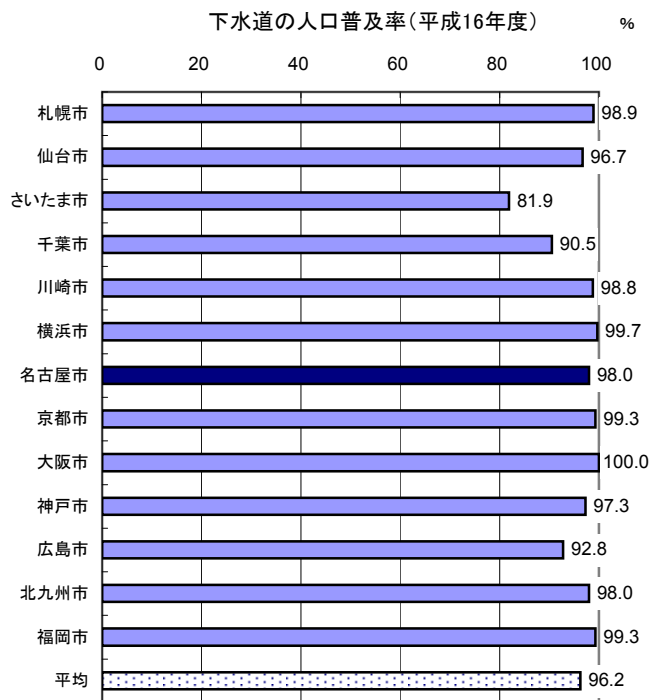
資料：大都市統計協議会「大都市比較統計年表」



資料：大都市統計協議会「大都市比較統計年表」



資料：名古屋調べ、
大都市統計協議会「大都市比較統計年表」

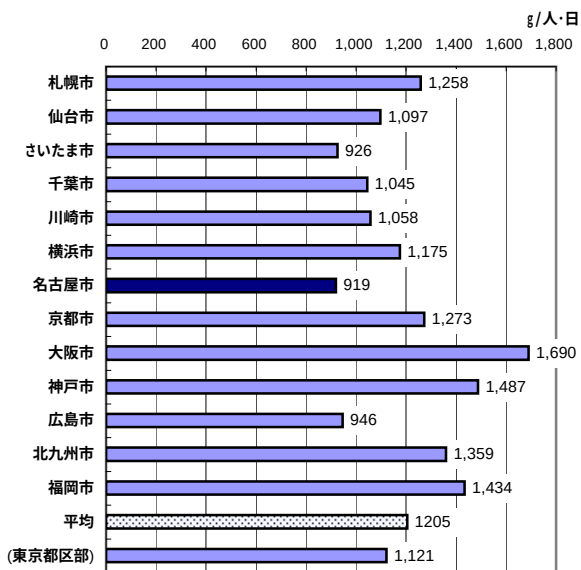


資料：各都市「地方公営企業決算の状況」

③廃棄物の減量と処理

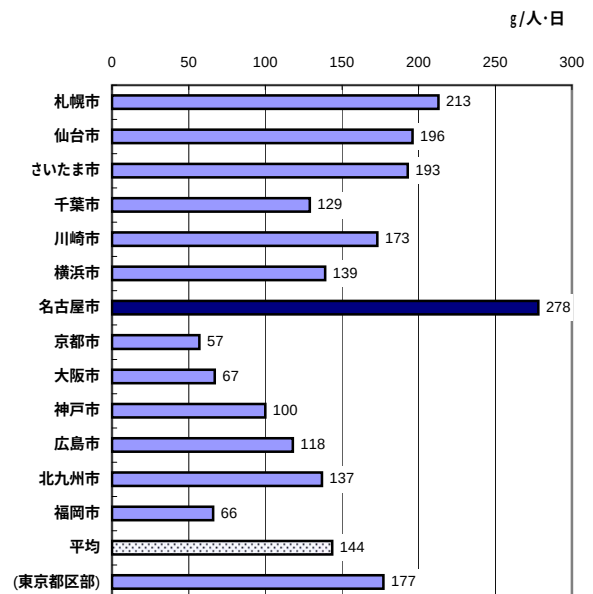
- ごみ量を1人1日当たりでみると、最も少ない。
- 資源回収量を1人1日当たりでみると、最も多い。
- 総排出量（ごみ量と資源回収量の合計）を1人1日当たりでみると、平均を下回っている。
- 埋立量を1人1日当たりでみると、平均を下回り、さいたま市、千葉市に次いで3番目に少ない。

ごみ量 (1人1日当たり、平成15年度)



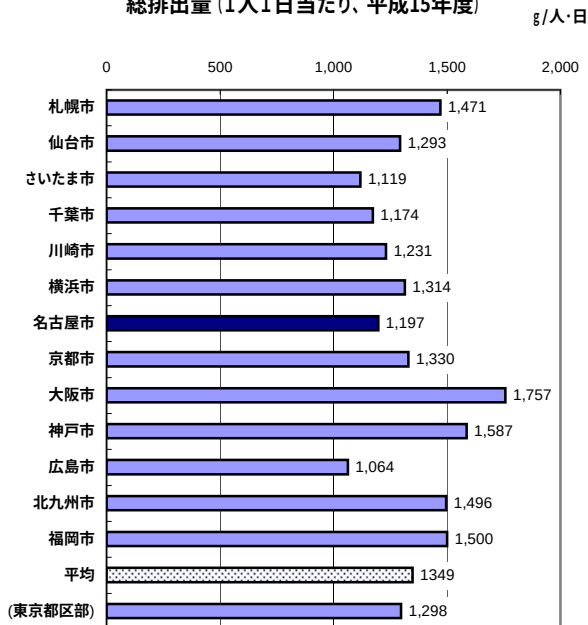
資料:名古屋市「名古屋ごみレポート」

資源回収量 (1人1日当たり、平成15年度)



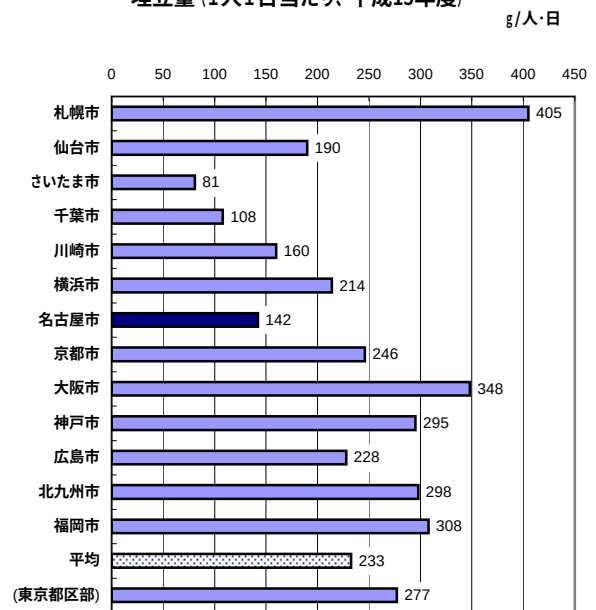
資料:名古屋市「名古屋ごみレポート」

総排出量 (1人1日当たり、平成15年度)



資料:名古屋市「名古屋ごみレポート」

埋立量 (1人1日当たり、平成15年度)



資料:名古屋市「名古屋ごみレポート」

(3) 市民の教育と文化

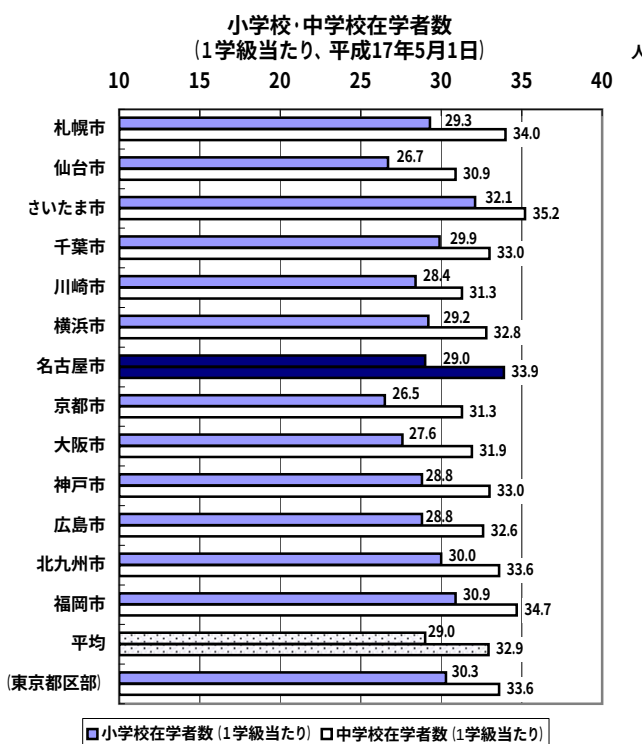
① 学校教育

○小学校の1学級当たりの在学者数は、ほぼ平均並みである。また、中学校の1学級当たりの在学者数は、平均を上回っている。

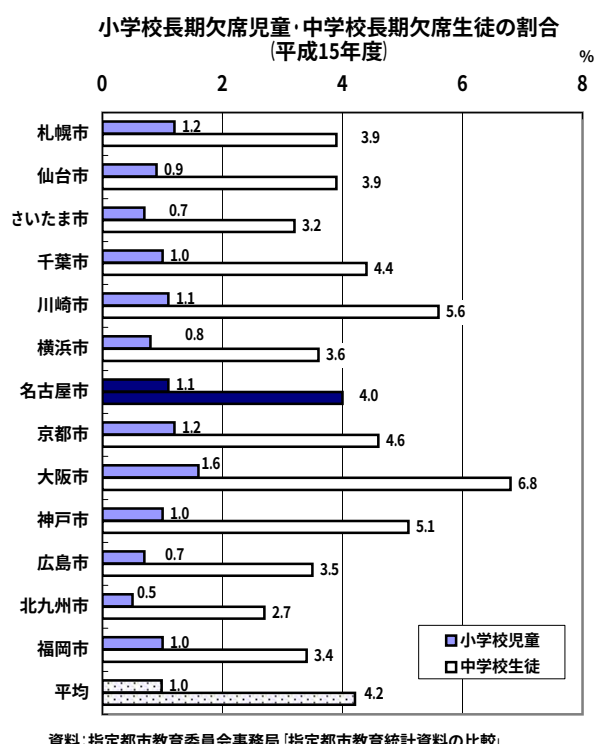
○小学校の長期欠席児童の割合は、ほぼ平均並みである。また、中学校の長期欠席児童の割合も、ほぼ平均並みである。

○幼稚園数を人口10万人当たりで見ると、ほぼ平均並みである。また、全幼稚園中の市立幼稚園の割合もほぼ平均並みである。

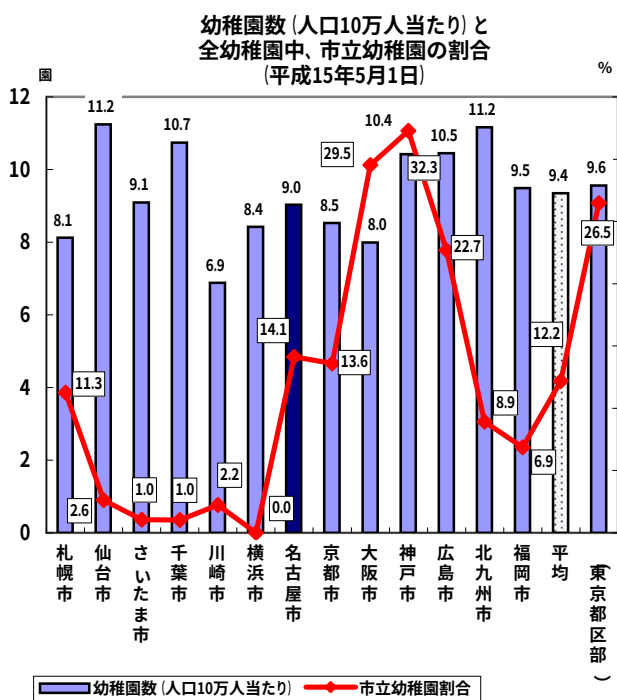
○高等学校数を人口10万人当たりで見ると、平均を下回っている。また、全高等学校中の市立高等学校の割合は、平均を上回り、大阪市に次いで2番目に高い。



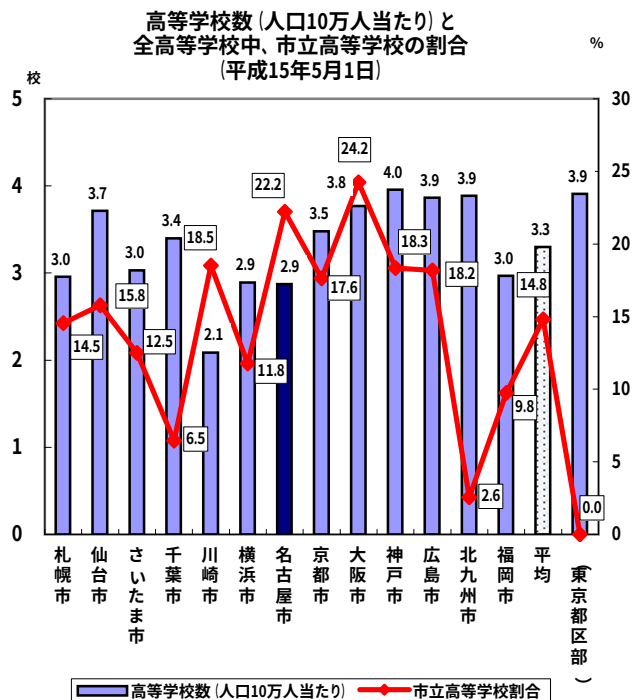
資料：文部科学省「学校基本調査」



資料：指定都市教育委員会事務局「指定都市教育統計資料の比較」



資料：大都市統計協議会「大都市比較統計年表」

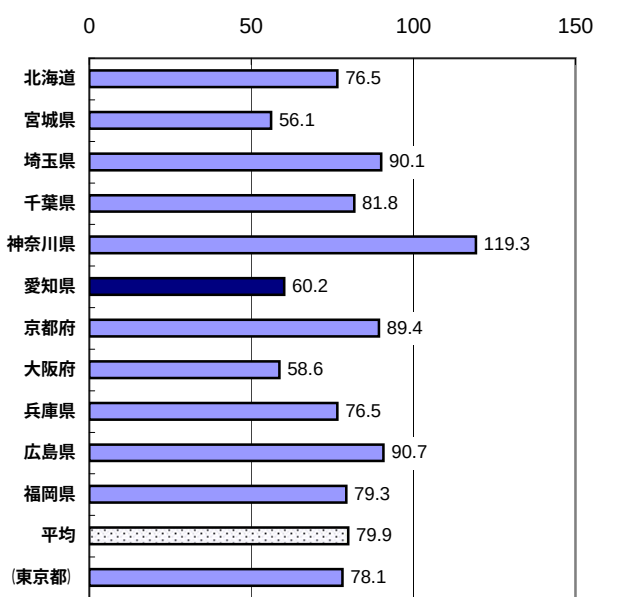


資料：大都市統計協議会「大都市比較統計年表」

②生涯学習、スポーツ・レクリエーション

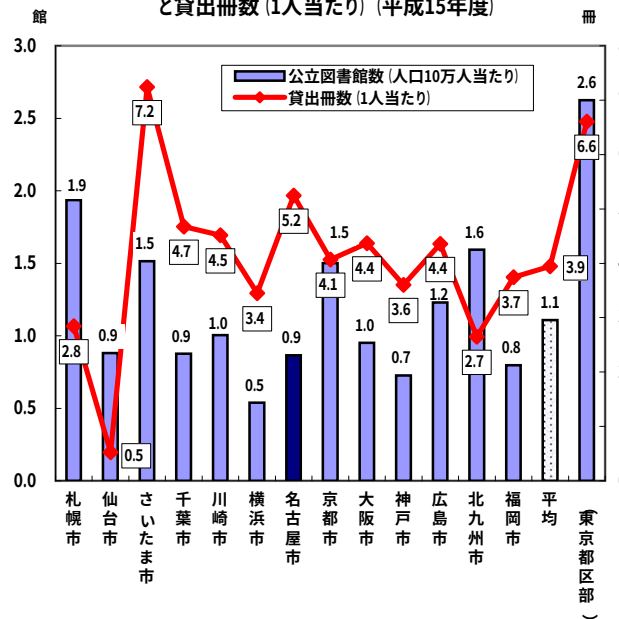
- 各種講座の受講生数を人口1,000人当たりでみると、本市を含む愛知県は、政令指定都市が所在する都道府県の平均を下回り、宮城県、大阪府に次いで3番目に少ない。
- 公立図書館数（都道府県立含む）を人口10万人当たりでみると、平均を下回っている。また、貸出冊数を1人当たりでみると、平均を上回り、さいたま市に次いで2番目に多い。
- 公営プール数を人口10万人当たりでみると、平均を上回り、北九州市、広島市に次いで3番目に多い。また、入場者数（1日当たり）をみると、平均を下回っている。
- 少年犯罪検挙数を人口10万人当たりでみると、平均を下回り、横浜市に次いで2番目に少ない。

各種講座の受講生数(都道府県別、都道府県知事部局・市町村
長部局実施分、人口1,000人当たり、平成13年度)



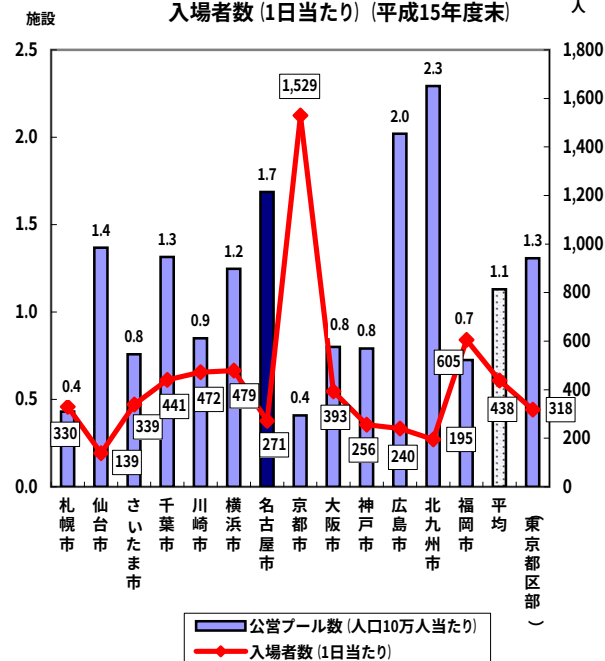
資料：文部科学省「社会教育調査」

公立図書館数(都道府県立含む、人口10万人当たり)
と貸出冊数(1人当たり)(平成15年度)



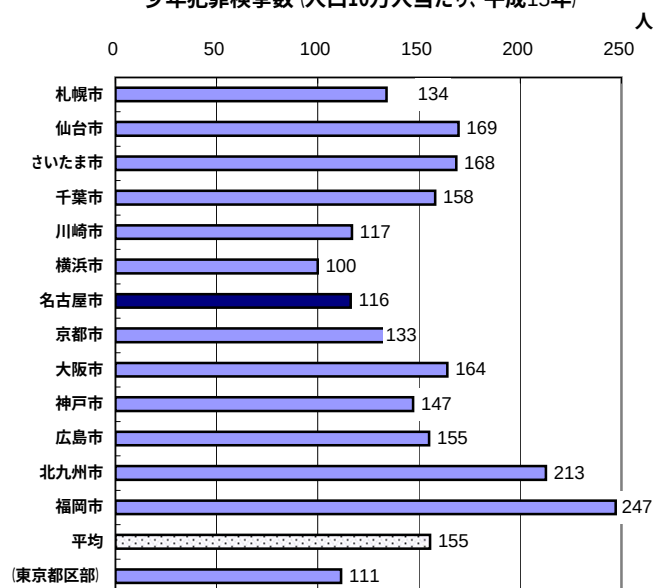
資料：大都市統計協議会「大都市比較統計年表」

公営プール数(人口10万人当たり)と
入場者数(1日当たり)(平成15年度末)



資料：大都市統計協議会「大都市比較統計年表」

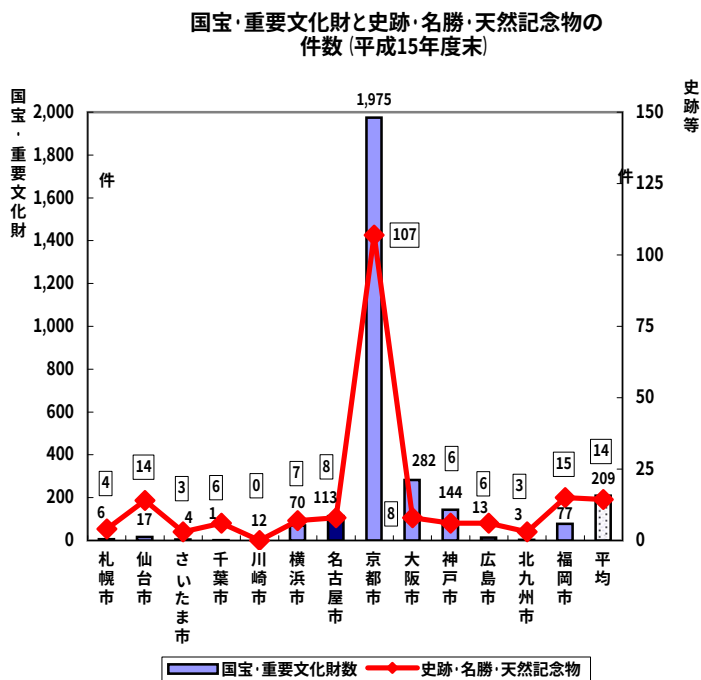
少年犯罪検挙数(人口10万人当たり、平成15年)



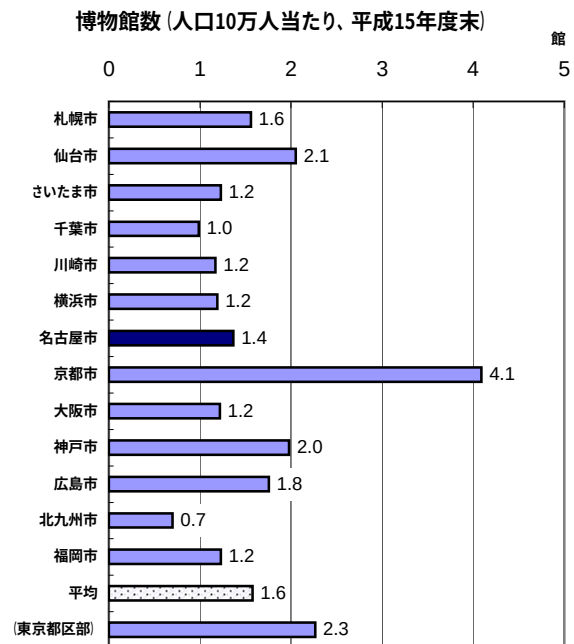
資料：大都市統計協議会「大都市比較統計年表」

③文化

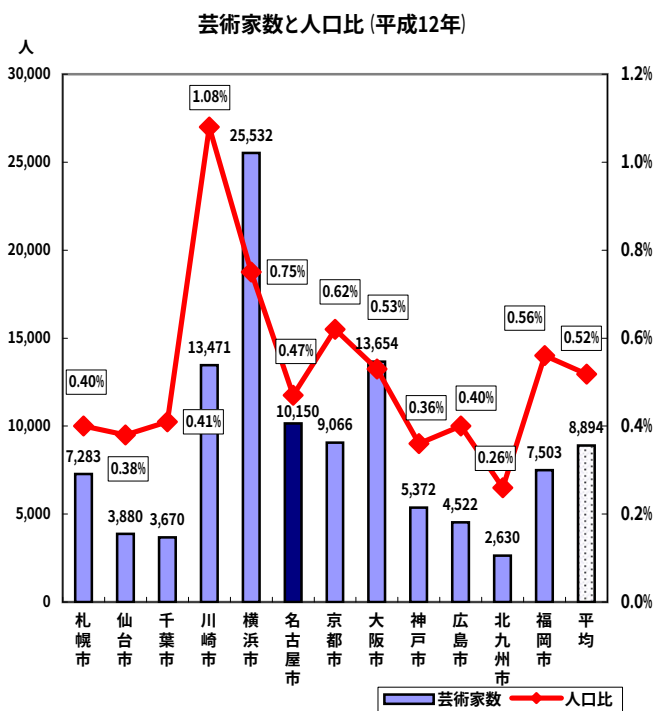
- 国宝・重要文化財および史跡・名勝・天然記念物の件数は、いずれも京都市が多い。
- 博物館数を人口10万人当たりでみると、ほぼ平均並みである。
- 芸術家数は、ほぼ平均並みである。また、芸術家数の人口比も、ほぼ平均並みである。
- 劇場数を人口10万人当たりでみると、最も多い。



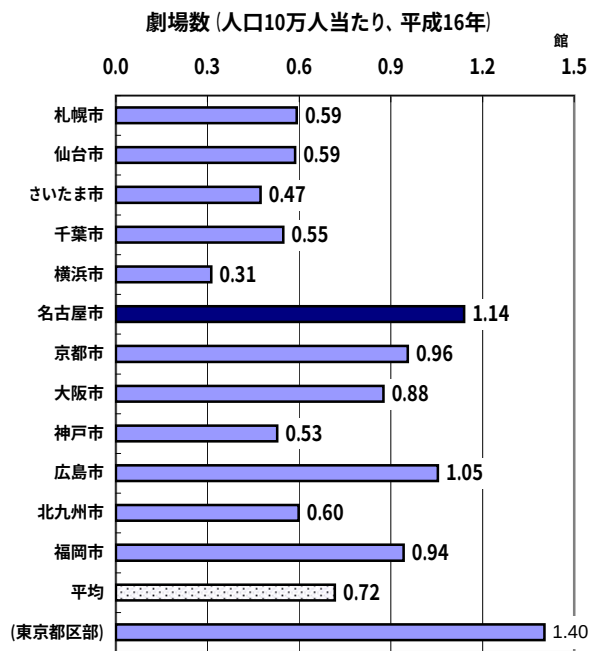
資料:大都市統計協議会「大都市比較統計年表」



資料:大都市統計協議会「大都市比較統計年表」



資料:総務省「国勢調査抽出詳細集計」



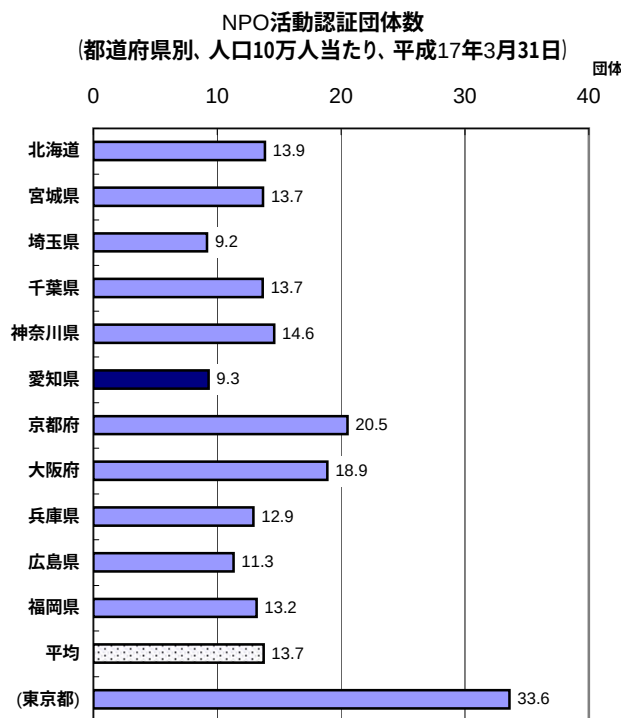
資料:経済産業省「特定サービス産業実態調査報告書」

④コミュニティ・市民活動

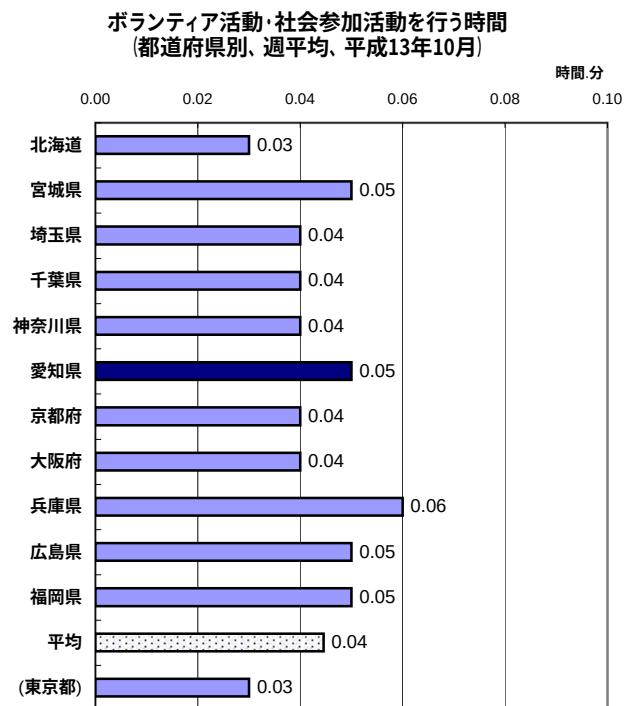
○NPO活動認証団体数を人口10万人当たりでみると、本市を含む愛知県は、政令指定都市が所在する都道府県の平均を下回り、埼玉県に次いで2番目に少ない。

○個人がボランティア活動・社会参加活動を行う時間(週平均)をみると、本市を含む愛知県は、政令指定都市が所在する都道府県の平均を上回っている。

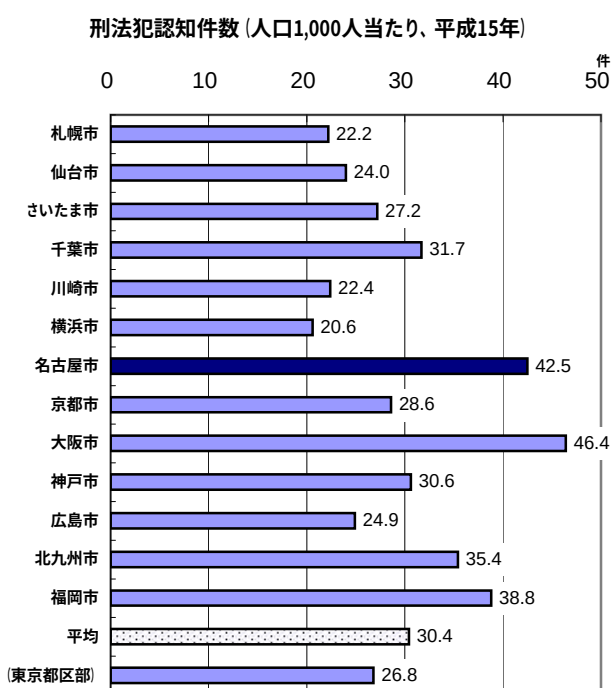
○刑法犯認知件数を人口1,000人当たりでみると、平均を上回り、大阪市に次いで2番目に多い。



資料：朝日新聞社「民力2005年版」(数値は内閣府調べ)



資料：大都市統計協議会「大都市比較統計年表」

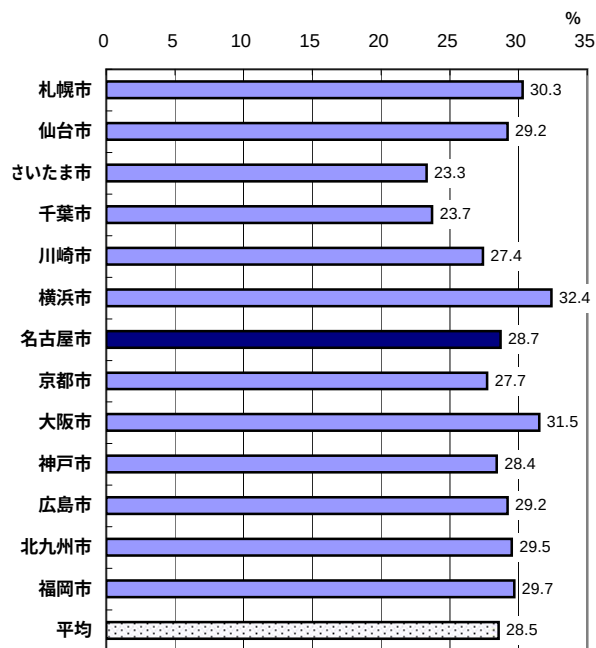


資料：大都市統計協議会「大都市比較統計年表」

⑤男女平等参画

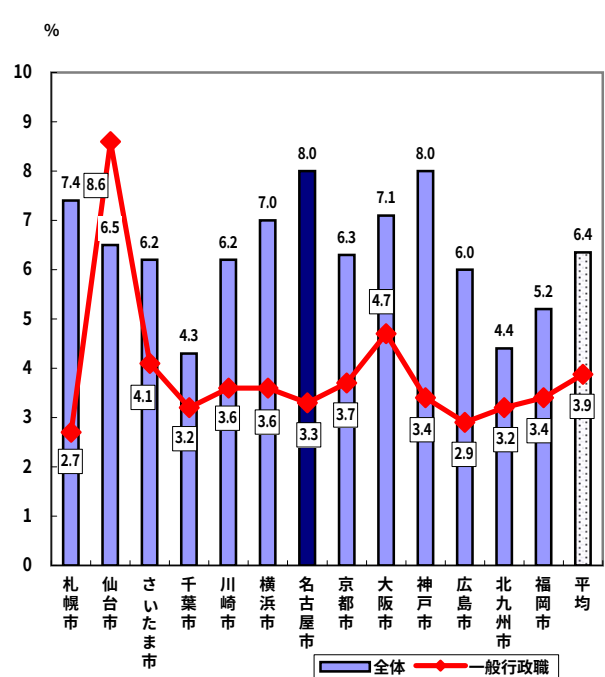
- 市の審議会等への女性登用率は、ほぼ平均並みである。
- 市の管理職の女性比率は、神戸市と並び最も高い。
- 小学校の管理職の女性比率は、平均を下回り、札幌市に次いで2番目に低い。また、中学校の管理職の女性比率も、平均を下回っている。

市の審議会等への女性登用率 (平成16～17年度)



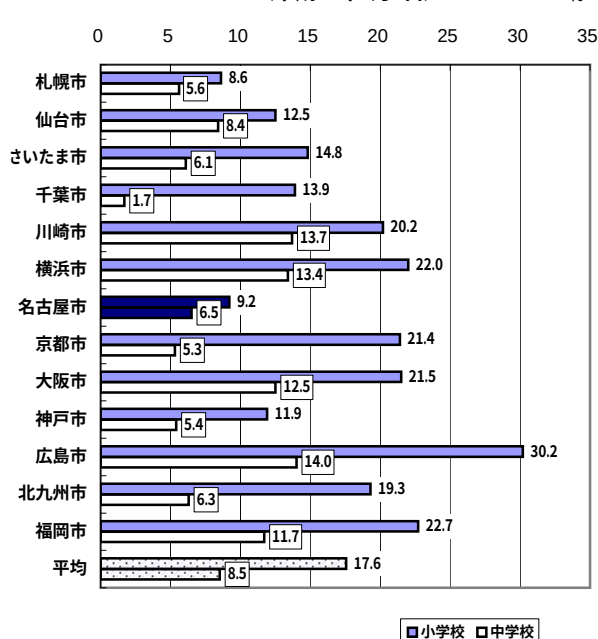
資料：内閣府「地方公共団体における男女共同参画社会の形成
又は女性に関する施策の推進状況」

市の管理職の女性比率 (平成17年度)



資料：内閣府「地方公共団体における男女共同参画社会の形成
又は女性に関する施策の推進状況」

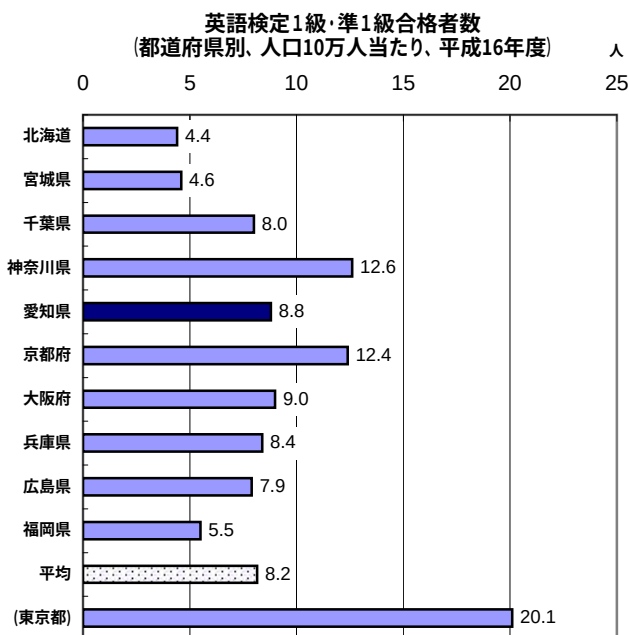
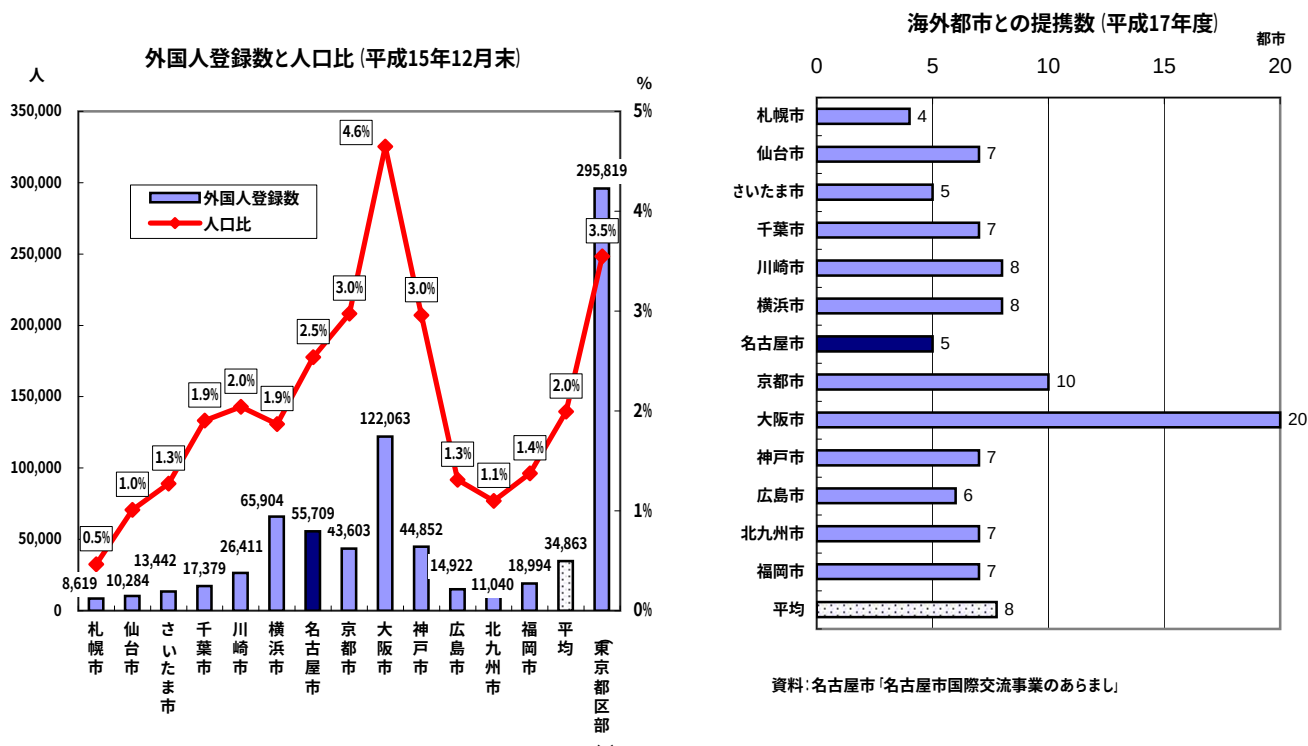
小学校・中学校の管理職の女性比率
(平成15年5月1日)



資料：名古屋市「名古屋市男女平等参画審議会答申」(数値は指定都市教育委員会
事務局「指定都市教育統計資料の比較」および名古屋市調べ)

⑥国際都市

- 外国人登録数は、ほぼ平均並みであるが、大阪市、横浜市に次いで3番目に多い。また、人口比でも、ほぼ平均並みである。
- 海外都市との提携数は、本市は札幌市に次いで2番目に少ない。
- 英語検定1級・準1級合格者数を人口10万人当たりでみると、本市を含む愛知県は、ほぼ政令指定都市が所在する都道府県の平均並みである。

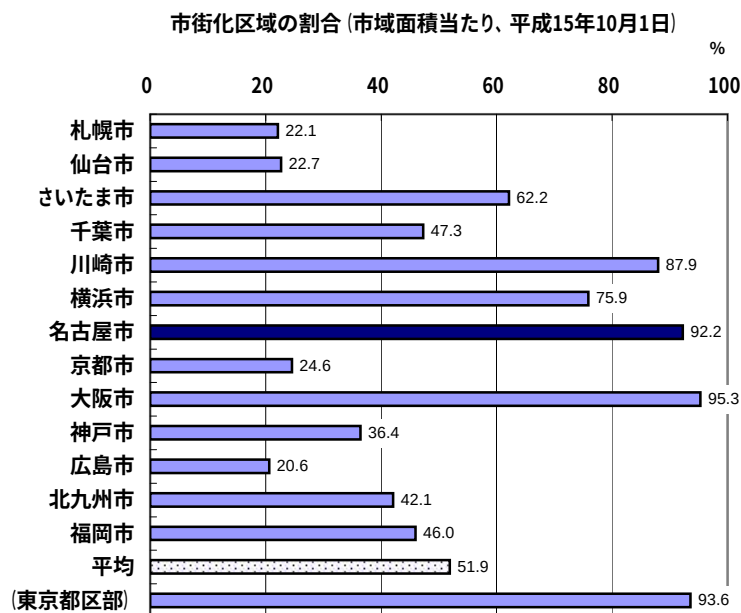


(4)市街地の整備

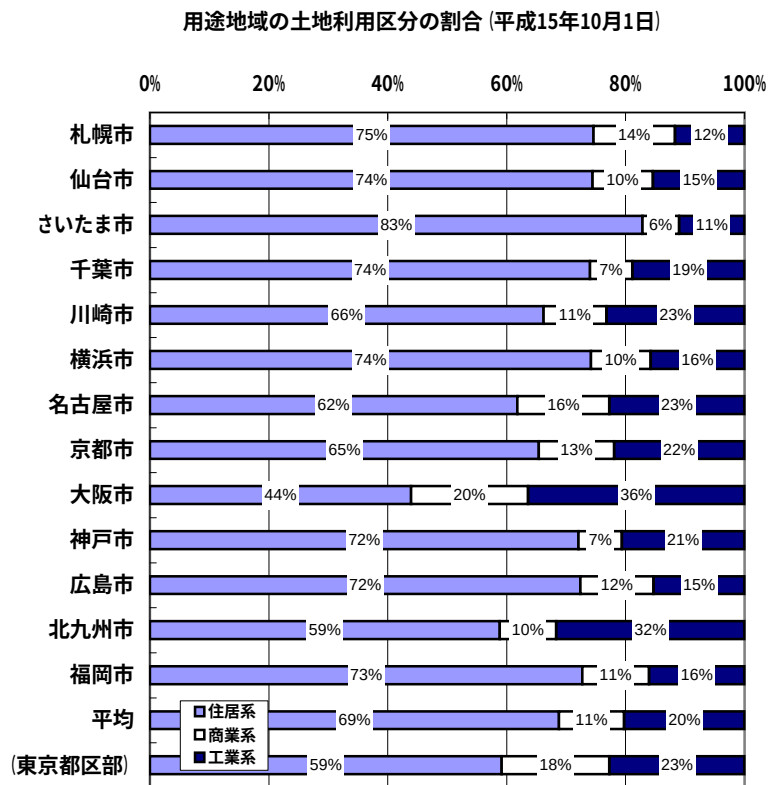
①市街地整備

○市街化区域の割合を市域面積当たりでみると、平均を上回り、大阪市に次いで2番目に高い。

○用途地域の土地利用区分の割合は、比較的商業系の割合が高く、大阪市に次いで2番目に高い。



資料:大都市統計協議会「大都市比較統計年表」

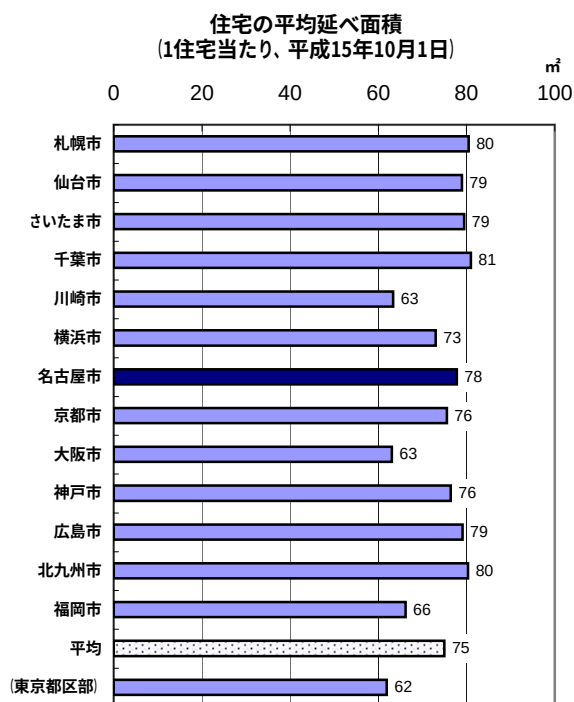


※四捨五入の結果、合計値が100%を超える場合がある。

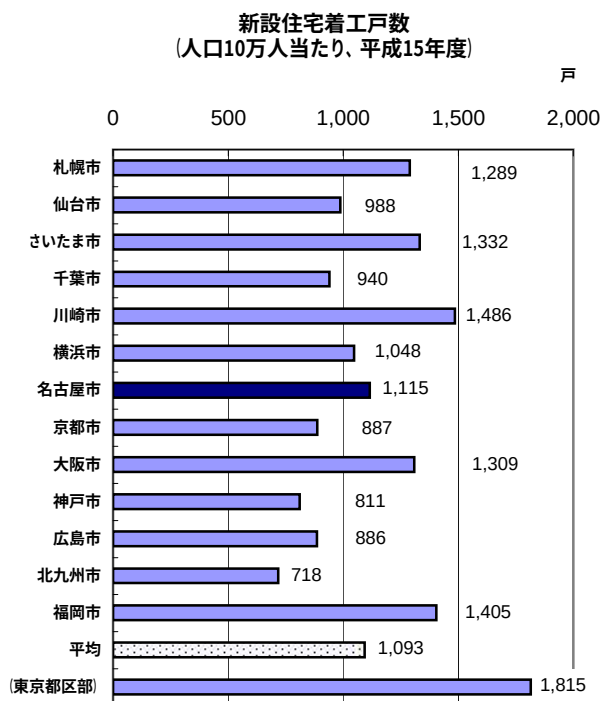
資料:大都市統計協議会「大都市比較統計年表」

②住宅

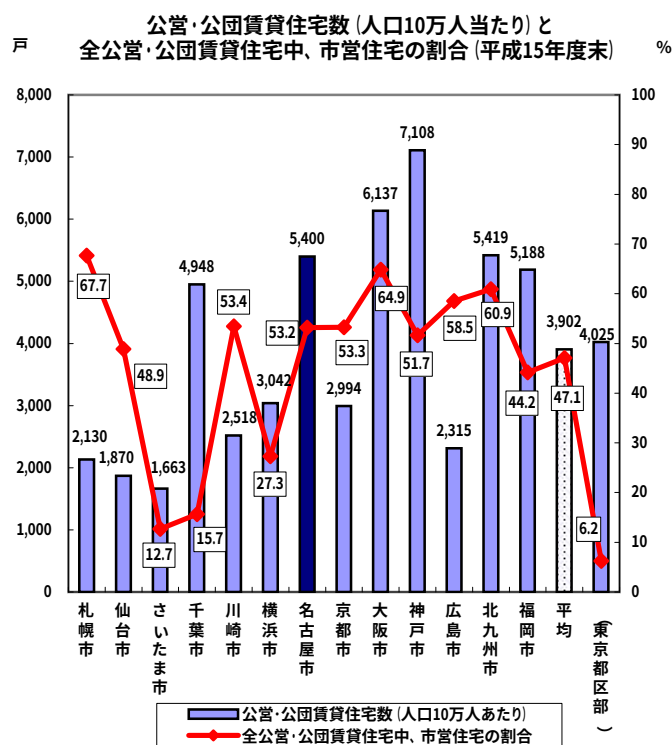
- 住宅の平均延べ面積を1住宅当たりでみると、平均を上回っている。
- 新設住宅着工戸数を人口10万人当たりでみると、ほぼ平均並みである。
- 公営・公団賃貸住宅数を人口10万人当たりでみると、平均を上回っている。また、全公営・公団賃貸住宅中の市営住宅の割合も、平均を上回っている。



資料：総務省「住宅・土地統計調査」



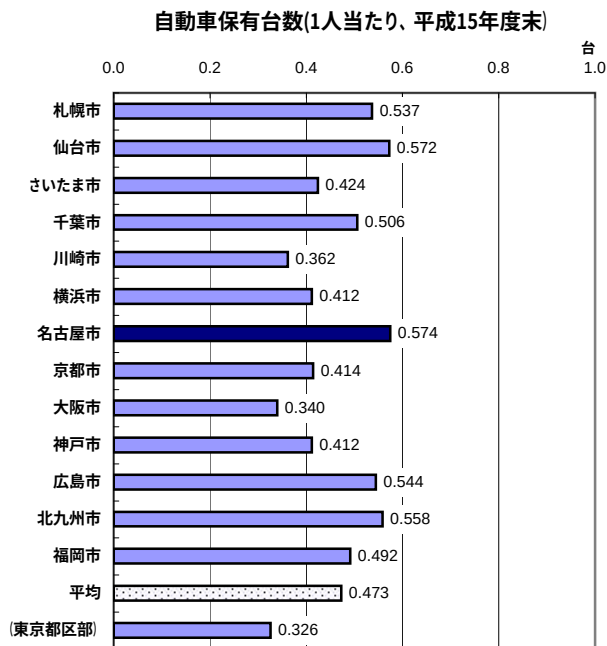
資料：国土交通省「建築統計年報」



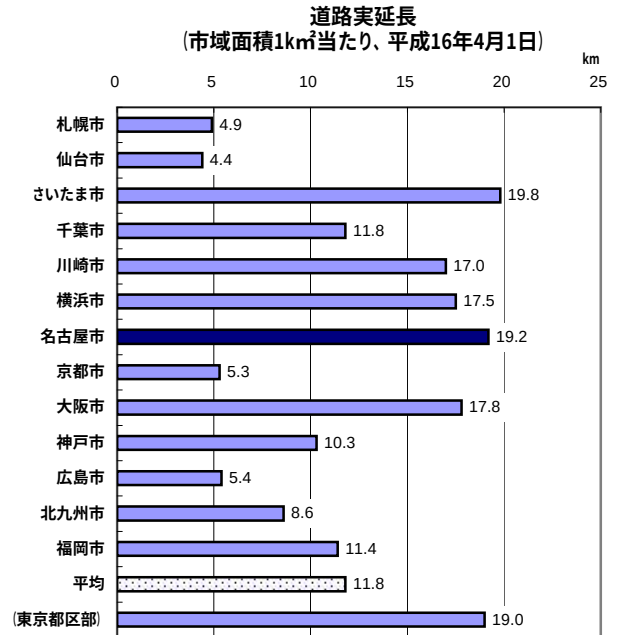
資料：大都市統計協議会「大都市比較統計年表」

③交通

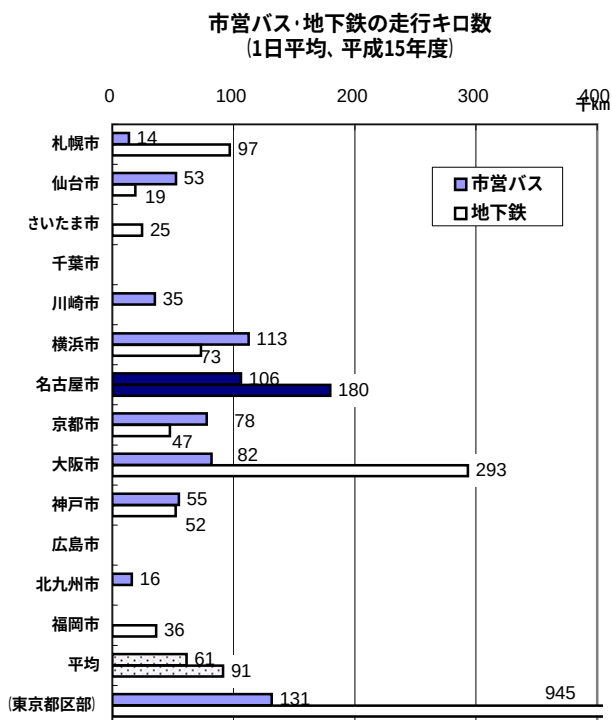
- 自動車保有台数を1人当たりでみると、最も多い。
- 道路実延長を市域面積1km²当たりでみると、平均を上回り、さいたま市に次いで2番目に長い。
- 市営バスの走行キロ数を1日平均でみると、平均を上回り、横浜市に次いで2番目に長い。また、地下鉄の走行キロ数を1日平均でみると、平均を上回り、大阪市に次いで2番目に長い。
- 交通事故発生件数を人口1,000人当たりでみると、平均を上回り、福岡市、北九州市に次いで3番目に多い。



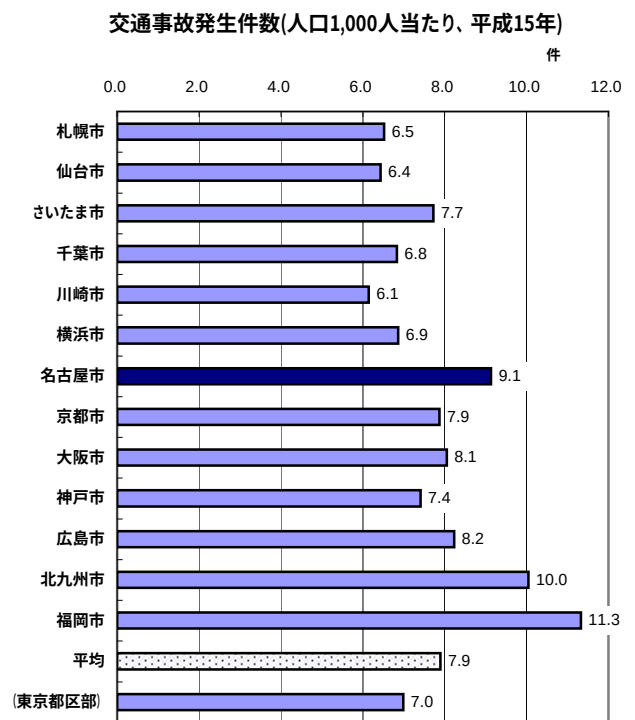
資料：大都市統計協議会「大都市比較統計年表」



資料：大都市統計協議会「大都市比較統計年表」



資料：大都市統計協議会「大都市比較統計年表」



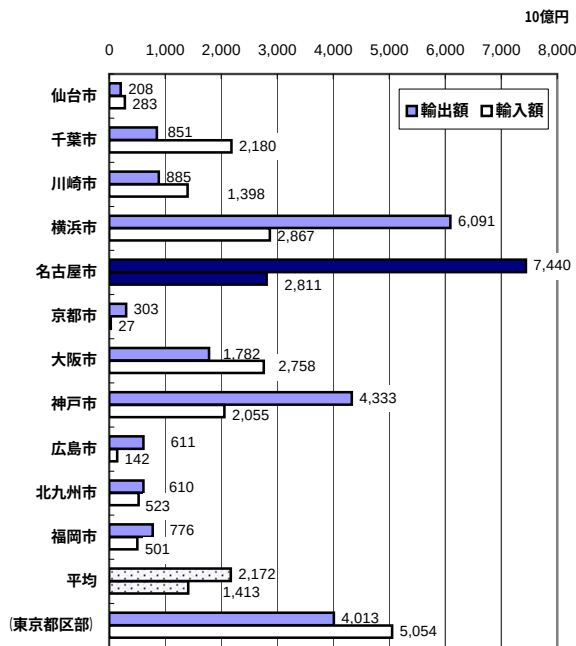
資料：大都市統計協議会「大都市比較統計年表」

④港湾

○海上輸出額は、最も大きい。また、海上輸入額は、平均を上回り、横浜市に次いで2番目に大きい。

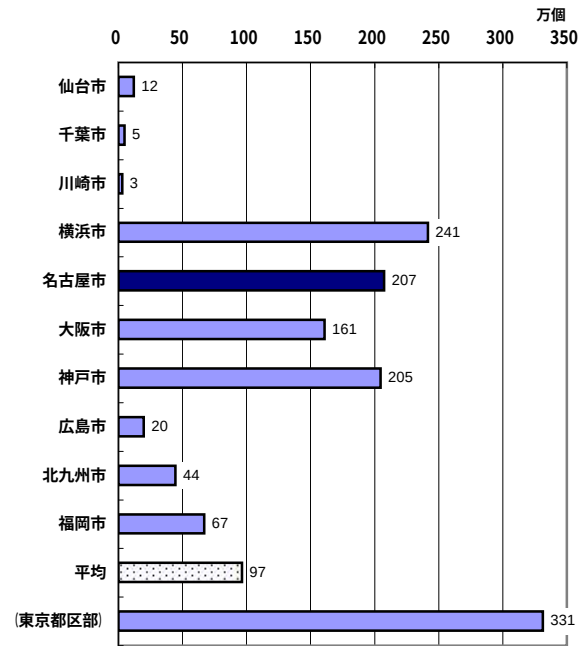
○外貿コンテナ貨物の年間取扱数量は、平均を上回り、横浜市に次いで2番目に多い。

海上輸出入金額 (平成15年)



資料:大都市統計協議会「大都市比較統計年表」

外貿コンテナ貨物の年間取扱数量 (平成15年)

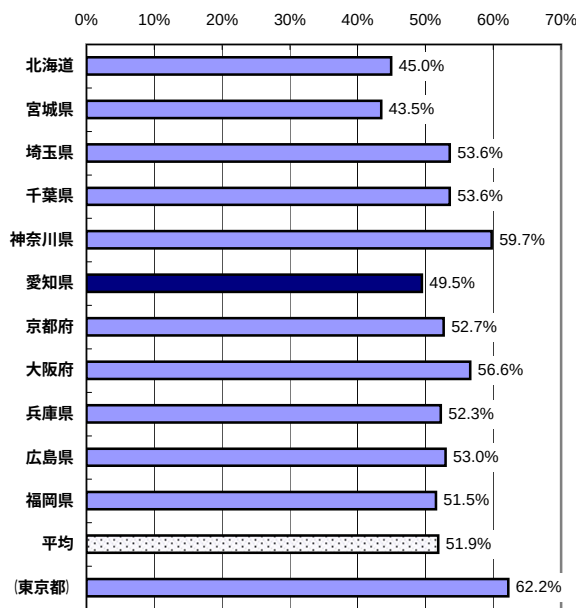


資料:大都市統計協議会「大都市比較統計年表」

⑤情報・通信

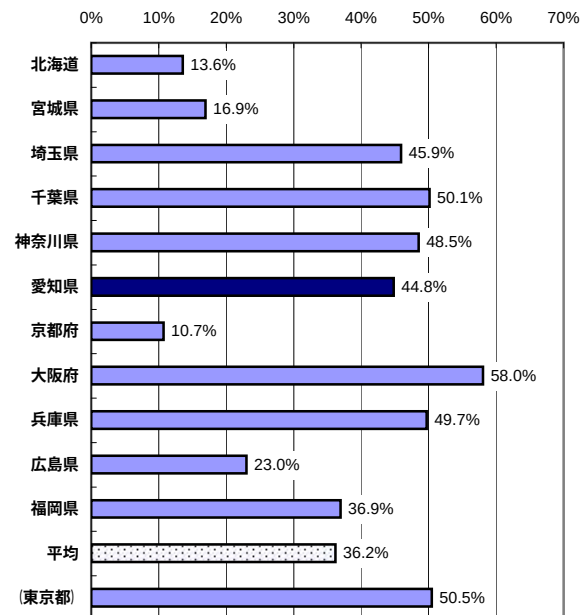
- インターネットの人口普及率をみると、本市を含む愛知県は、政令指定都市が所在する都道府県の平均を下回り、宮城県、北海道に次いで3番目に低い。
- ケーブルテレビ契約数を世帯比でみると、愛知県は、平均を上回っている。
- ブロードバンド契約数を世帯比でみると、愛知県は、平均を上回り、神奈川県に次いで2番目に多い。
- 電子商取引導入率をみると、愛知県は、ほぼ平均並みである。

インターネットの人口普及率
(都道府県別、平成17年)



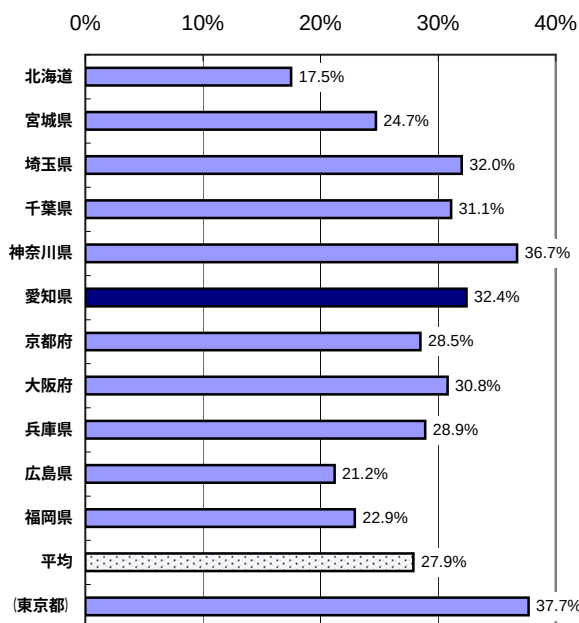
資料：総務省ホームページ「都道府県別情報化指標」

ケーブルテレビ契約数の世帯比
(都道府県別、平成17年3月末)



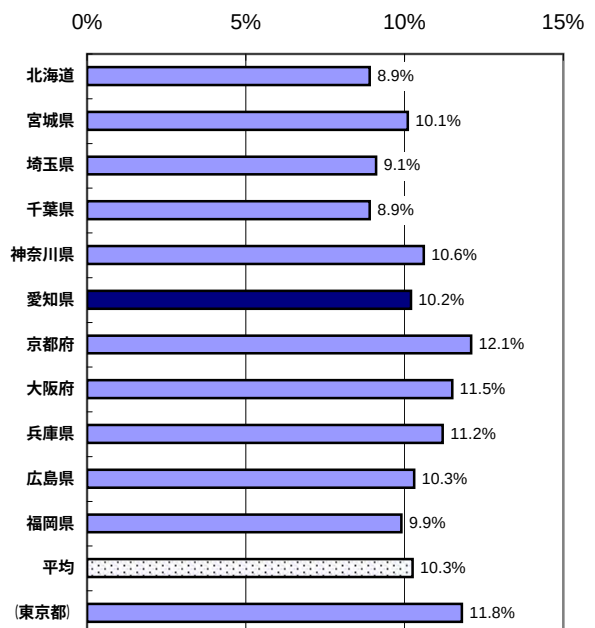
資料：総務省ホームページ「都道府県別情報化指標」

ブロードバンド契約数の世帯比
(都道府県別、平成16年3月末)



資料：総務省ホームページ「都道府県別情報化指標」

電子商取引導入率
(都道府県別、全産業、平成13年10月1日)

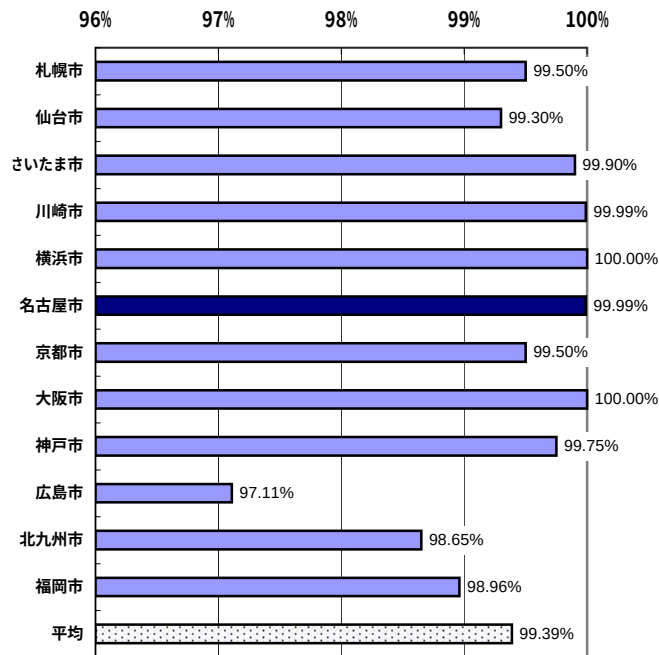


資料：総務省ホームページ「事業所・企業統計調査概数集計による電子商取引の状況」

⑥水

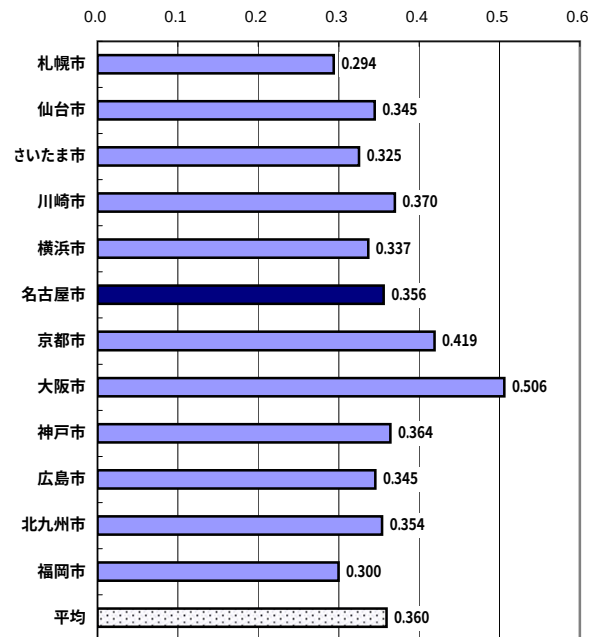
- 水道の人口普及率は、平均を上回り、川崎市と並び、大阪市、横浜市に次いで3番目に高い。
- 配水量を1人1日当たり平均でみると、ほぼ平均並みである。
- 有収率は、平均を上回り、福岡市に次いで2番目に高い。
- 水道料金は1ヵ月10m³当たりでみると、最も低い。

水道の人口普及率 (平成16年度)



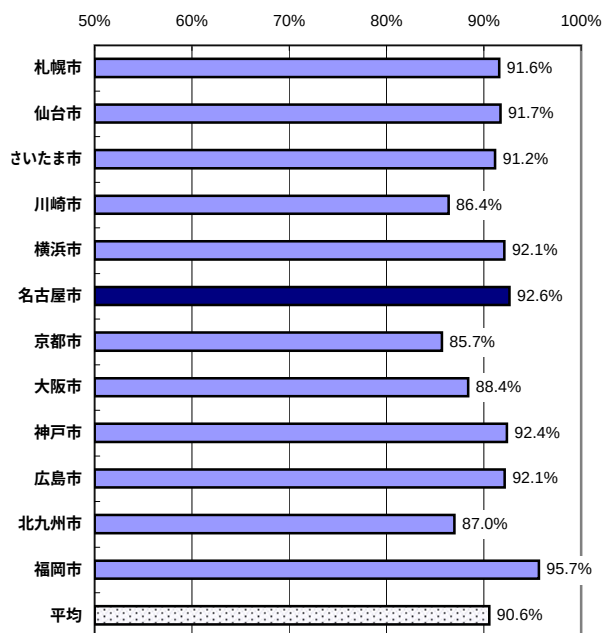
資料: 各都市「地方公営企業決算の状況」

配水量(1人1日当たり平均、平成16年度) m³



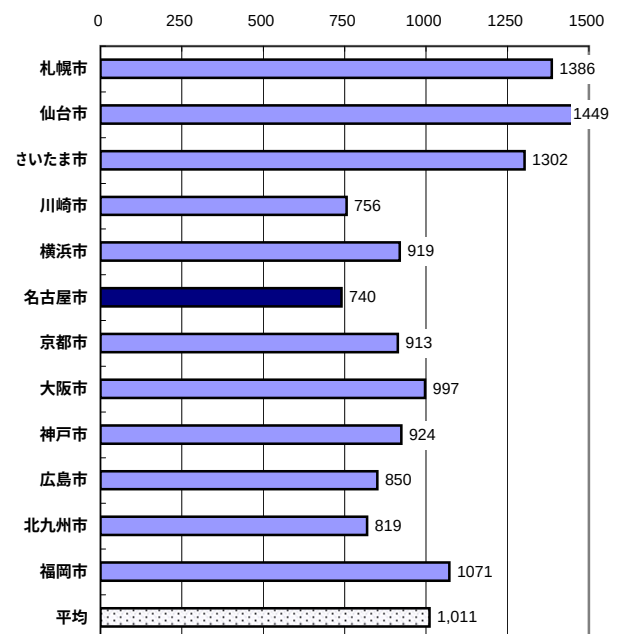
資料: 各都市「地方公営企業決算の状況」

有収率 (平成16年度)



資料: 各都市「地方公営企業決算の状況」

水道料金 (1ヵ月10m³当たり、平成16年度) 円



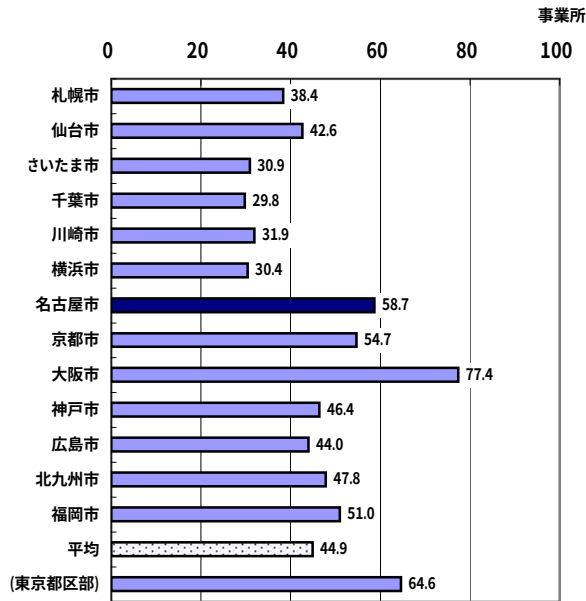
資料: 各都市「地方公営企業決算の状況」

(5) 市民の経済

① 産業振興

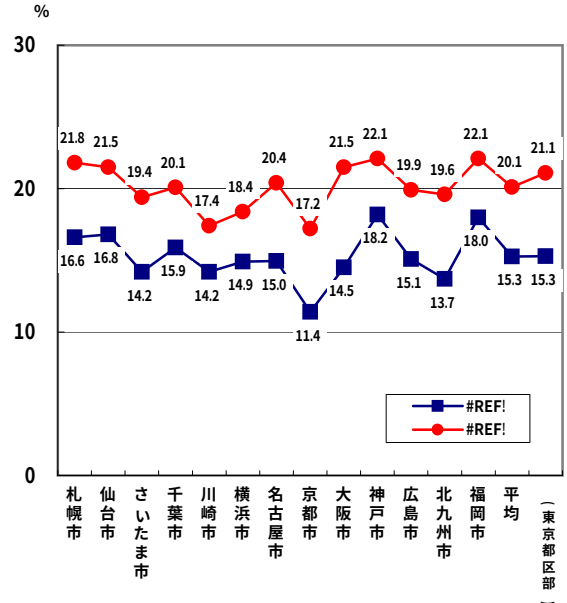
- 民営事業所数を人口1,000人あたりでみると、平均を上回り、大阪市に次いで2番目に多い。
- 民営事業所の新設率は、ほぼ平均並みである。また、廃業率も、ほぼ平均並みである。
- 製造品出荷額等は、平均を上回っている。
- 学術研究機関従業者数は、平均を下回っている。また、学術研究機関従業者数の人口比も平均を下回っている。

民営事業所数(人口1,000人あたり、平成16年6月1日)



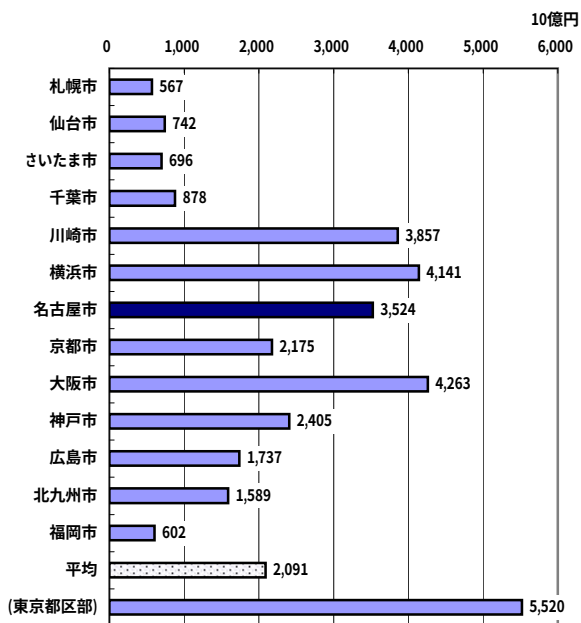
資料：総務省「事業所・企業統計調査」(平成16年速報値)

民営事業所の新設率・廃業率(平成13年～16年)



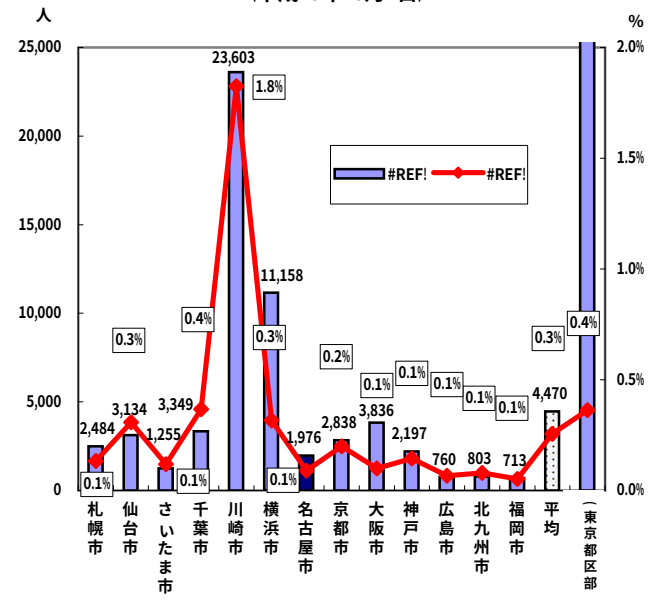
資料：総務省「事業所・企業統計調査」(平成16年速報値)を加工

製造品出荷額等(平成15年12月31日)



資料：大都市統計協議会「大都市比較統計年表」

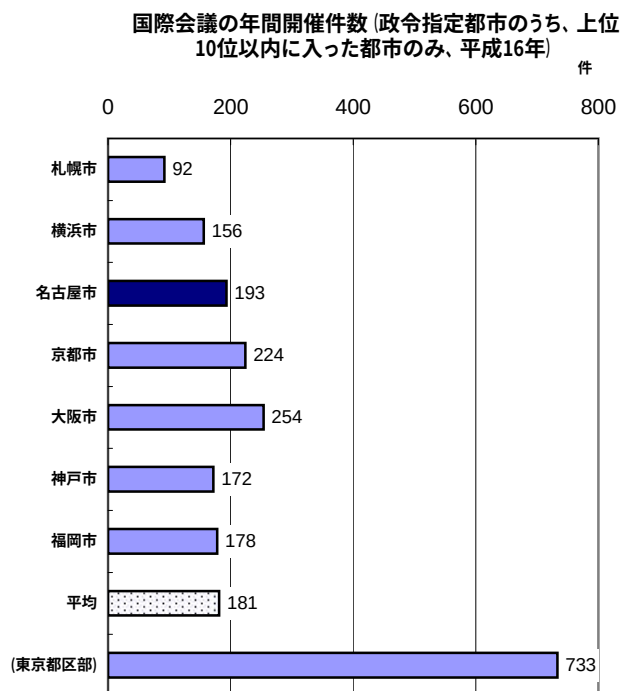
学術研究機関従業者数と人口比
(平成13年10月1日)



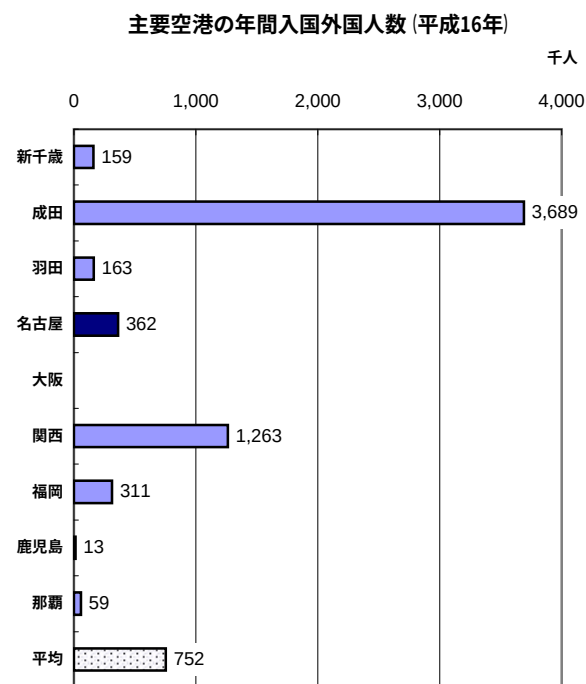
資料：大都市統計協議会「大都市比較統計年表」

②観光・コンベンション

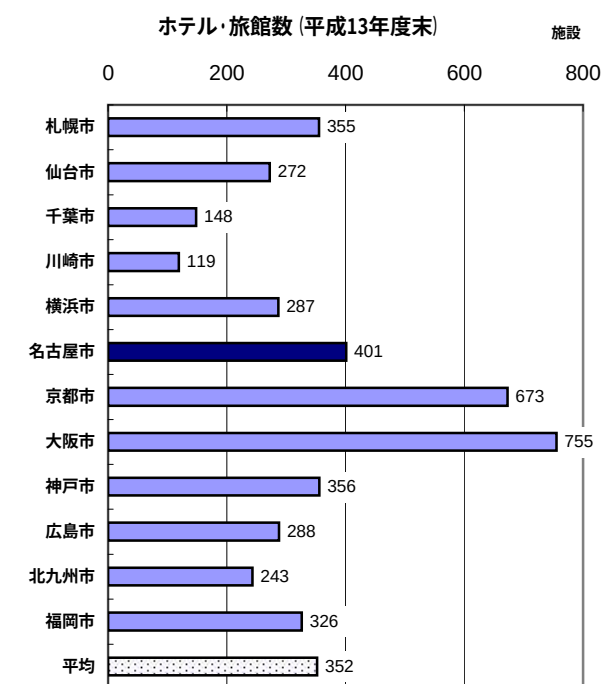
- 国際会議の年間開催件数は、ほぼ平均並みである。
- 主要空港の年間入国外国人数をみると、名古屋は成田、関西に次いで3番目に多い。
- ホテル・旅館数は、ほぼ平均並みである。
- 訪日外国人旅行者の訪問率は、ほぼ平均並みである。



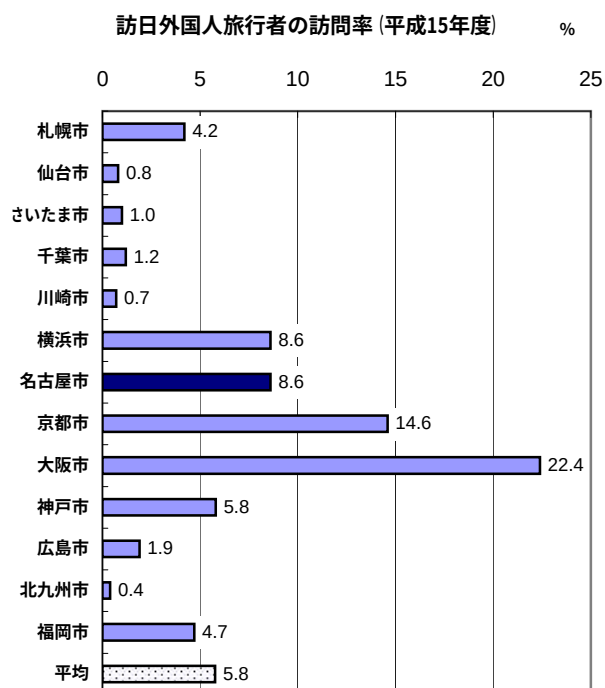
資料：国際観光振興機構「コンベンション統計」



資料：法務省「外国人及び日本人の出入国者統計」



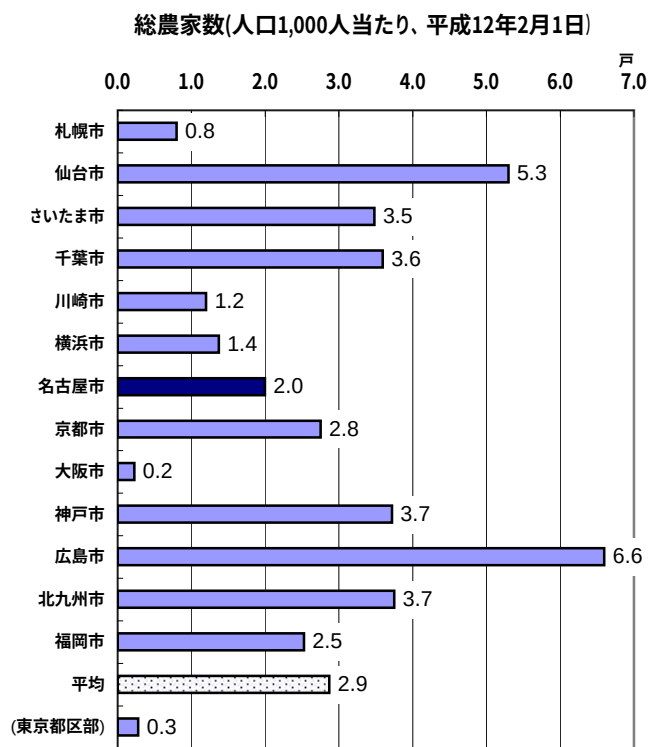
資料：国土交通省「観光地づくりデータベース」



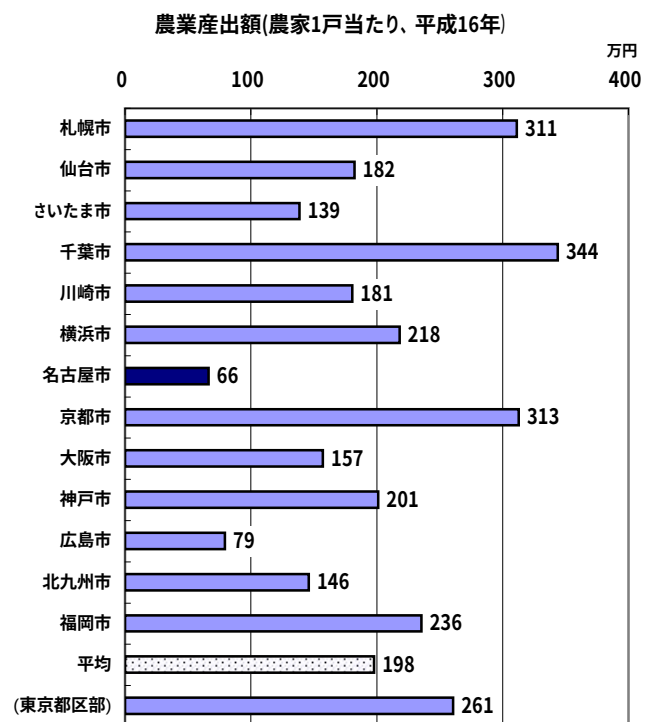
資料：国際観光振興機構「訪日外国人旅行者調査2003-2004」

③都市農業

- 総農家数を人口1,000人当たりで見ると、平均を下回っている。
- 農業産出額を農家1戸当たりで見ると、最も低い。



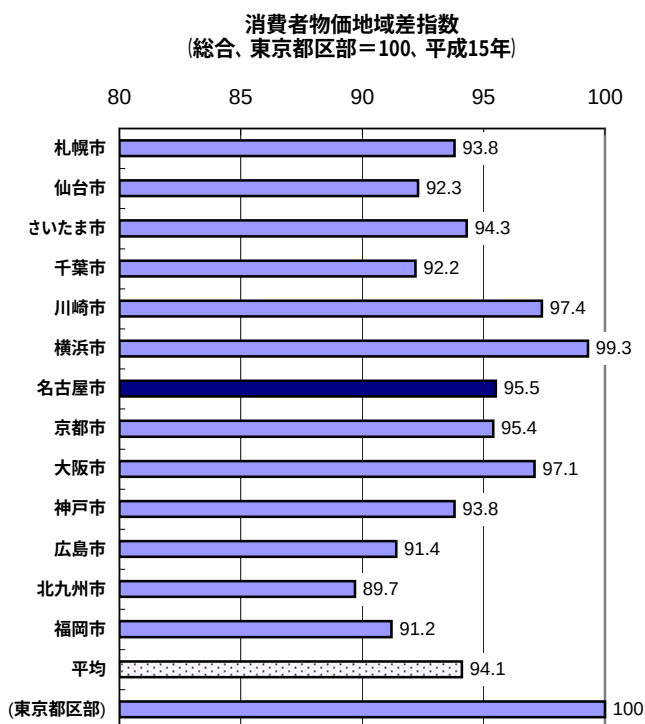
資料:大都市統計協議会「大都市比較統計年表」



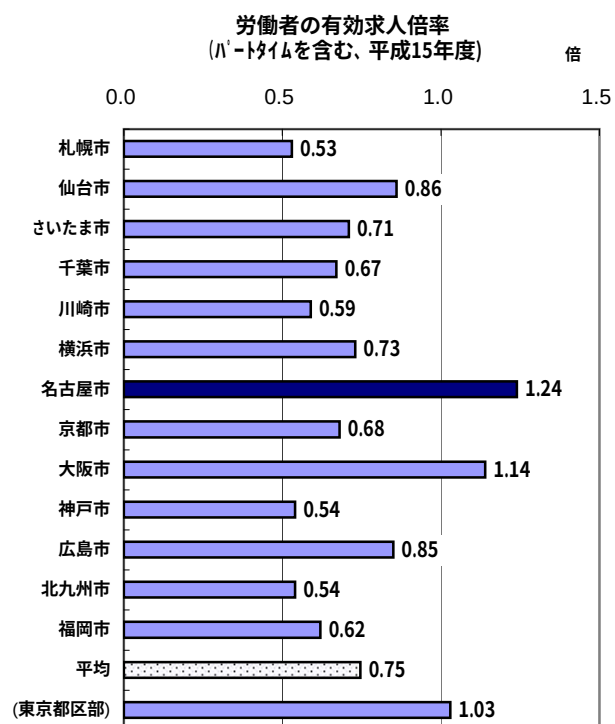
資料:農林水産省「農業産出額(市町村別農業産出額)」

④消費者・勤労者

- 消費者物価地域差指数（総合）は、平均を上回っている。
- 労働者（パートタイムを含む）の有効求人倍率は、最も高い。



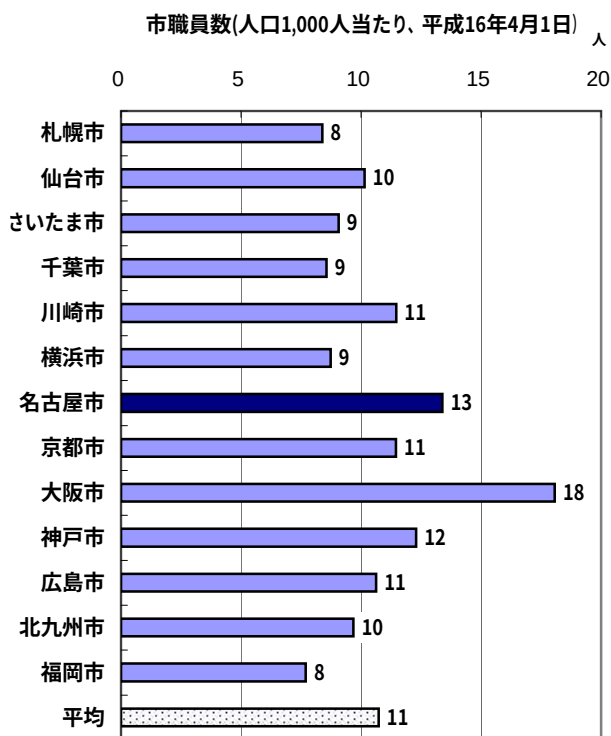
資料：大都市統計協議会「大都市比較統計年表」



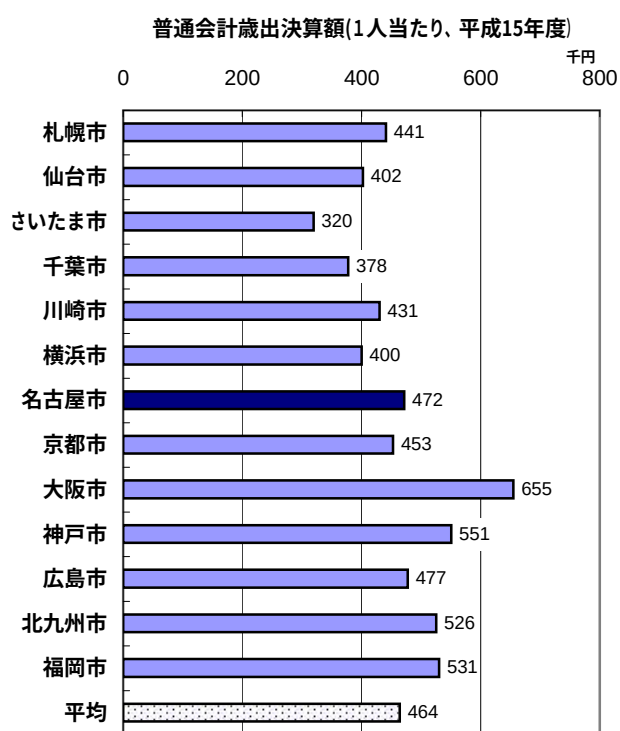
資料：大都市統計協議会「大都市比較統計年表」

(6) 人権と市民サービス

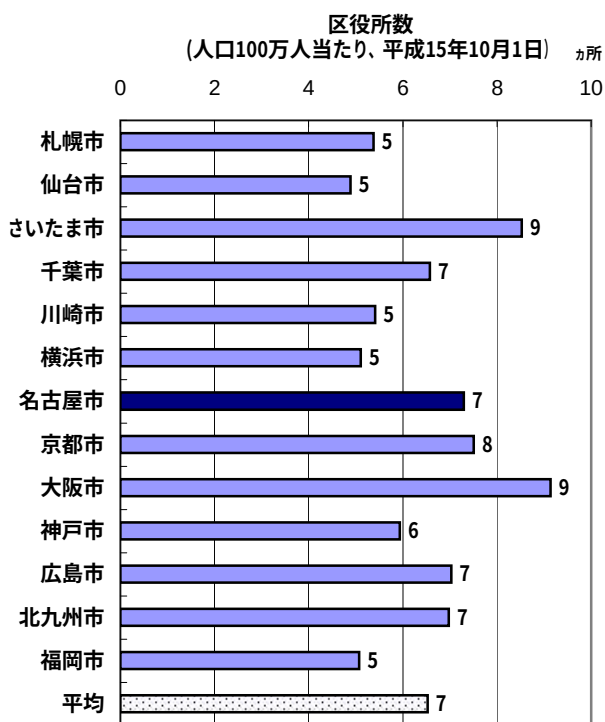
- 市の職員数を人口1,000人当たりでみると、平均を上回り、大阪市に次いで2番目に多い。
- 普通会計歳出決算額を1人当たりでみると、ほぼ平均並みである。
- 区役所数を人口100万人当たりでみると、ほぼ平均並みである。



資料：総務省「地方公共団体定員管理調査結果」



資料：大都市統計協議会「大都市比較統計年表」



資料：大都市統計協議会「大都市比較統計年表」

評価対象施策一覧

【名古屋新世紀計画2010第2次実施計画に基づく全79施策】

柱	部門	施 策	掲載ページ	
			施策別 シート	都市比 較指標
市民の福祉と健康	高齢者福祉	安心して介護が受けられる仕組みづくり	102	82
		地域において安心して生活できるための支援	104	
		健康で生きがいを感じられる生活への支援	106	
	児童福祉	子どもを生み育てやすい環境づくり	108	83
		子どもが健やかに育つ環境づくり	110	
		援助を必要とする子どもと家庭の自立の支援	112	
	障害児・障害者福祉	地域における自立した生活の実現	114	83
		障害の重度化、重複化および障害者、介護者の高齢化への対応	116	
		就労の場の確保と社会参加の促進	118	
	福祉のまちづくり	すべての人にやさしいまちづくりの推進	120	84
		地域で支えあう福祉の促進	122	
	健康	生涯にわたる心身両面の健康づくり	124	84
		感染症対策および健康危機管理の推進	126	
		適切で迅速な医療とリハビリテーションの充実	128	
		食品と居住環境の衛生管理	130	
		斎場の整備	132	
都市の安全と環境	災害の防止	市民とともに築く地域の安全	134	85
		災害から市民を守る体制の整備	136	
		地震や火災に強いまちづくり	138	
		大雨に強いまちづくり	140	
	環境の保全と緑化	環境保全活動の促進	142	86
		公害のない快適な生活環境の確保	144	
		緑豊かなまちづくり	146	
		うるおいのある水辺環境の創出	148	
	廃棄物の減量と処理	循環型社会構築に向けた3Rの推進	150	86
		安全で適正なごみ処理の推進	152	
市民の教育と文化	学校教育	幼児教育	154	87
		小中学校教育	156	
		高等学校教育	158	
		障害児教育	160	
		市立大学	162	
	生涯学習、スポーツ・レクリエーション	生涯学習の推進	164	88
		生涯スポーツの振興	166	
		健全な青少年の育成	168	
	文化	歴史・文化の保存継承と情報発信	170	89
		新たな文化創造・文化活動への支援	172	
	コミュニティ・市民活動	コミュニティ活動の支援	174	89
		市民活動の支援	176	
		魅力ある地域づくりの推進	178	
	男女平等参画	男女平等参画の総合的な推進	180	90
		女性の人権の尊重	182	
	国際都市	国際交流・国際協力の推進	184	90
		外国人市民が暮らしやすいまちづくり	186	

柱	部門	施 策	掲載ページ	
			施策別 シート	都市比 較指標
市街地の整備	市街地整備	合理的な土地利用の促進・総合的で多様なまちづくりの推進	188	91
		都市機能が集積し活気に満ちた都心域の形成	190	
		安全で快適な既成市街地の再生	192	
		計画的な新市街地の形成	194	
		魅力的な港・臨海域の形成	196	
		個性的な都市景観の形成	198	
	住 宅	良質な住宅の形成	200	91
		いきいきとした交流の促進	202	
		市民とともにすすめるすまい・まちづくり	204	
		安全で快適な住宅地の整備	206	
	交 通	都市の活力と魅力を生み出す総合交通体系の形成	208	92
		人にやさしく安全で快適な交通体系の形成	210	
		環境にやさしい交通体系の形成	212	
		広域交通ネットワークの強化	214	
	港 湾	国際競争力の高い港づくり	216	93
		活力・親しみ・環境と共生する港づくり	218	
	空 港	新交流時代にふさわしい中部国際空港の整備と国際・広域交流の促進	220	—
		利便性が高いアクセスの整備	222	
	情報・通信	市民サービスの向上と行政の効率化	224	93
		豊かで活力ある地域の情報化	226	
		安全な情報環境づくり	228	
	水	安定した給水サービスの提供	230	94
市民の経済	産業振興	多様なリーディング産業群の育成	232	94
		独創的な中小企業の育成	234	
		研究開発の促進	236	
		活気と魅力にあふれた地域商業地づくり	238	
	観光・コンベンション	特色や魅力を生かした集客力の向上	240	95
		観光・コンベンション都市としての交流の促進	242	
		2005年日本国際博覧会の推進	244	
	都市農業	安定した農業基盤の確保	246	96
		ふれあい農業の推進	248	
	消費者・勤労者	消費生活の安定・向上	250	96
		生鮮食料品等の安定供給	252	
		勤労者福祉の増進	254	
人権と市民サービス		人権	256	97
		市民サービス	258	